

艦船職員服務規程

大正八年六月二十三日
達第百十一號

改正 大正八年第一三一號、九年第一五二號、一〇年第七二號、第九九號、第一〇七號、一一一年第八五號、一二二年第三二號、一三年第二二號、一五年第三二號、昭和三年第一八一號、四年第一三四號、五年第一五六號、七年第一四六號、八年第一四五號、九年第一九五號、一一年第五五號、第一一五號、一二二年第八一號、一三年第一七三號、一四年第八〇號、一五年第二五六號、一六年第三二號、第八七號、第一八九號、第二七一號、一七年第一九五號、第二〇三號、一八年第二三號、第二七九號、一九年第二四號、第二九二號、第三二七號

艦船職員服務規程別冊ノ通定ム

軍艦職員勤務令ハ之ヲ廢止ス

(別冊)

艦船職員服務規程

目次

綱領

第一章 總則	四八二 <small>頁(參考)</small>
第二章 艦長	四八二
第三章 副長	四九六
第三章ノ二 内務長	四九九
第四章 航海長	五〇二
第五章 砲術長	五〇五

第二類 官制

艦船職員服務規程

第六章 水雷長	五〇七
第六章ノ二 機雷長	五〇九
第七章 通信長	五一一
第八章 飛行長	五一三
第九章 機關長	五一五
第十章 軍醫長	五一八
第十一章 主計長	五二一
第十二章 副砲長	五二四
第十三章ノ二 高射長	五二五
第十三章 飛行隊長	五二五
第十四章 兵科分隊長	五二五
第十五章 軍醫科分隊長	五二七
第十六章 主計科分隊長	五二八
第十七章 乘組士官	五二九
第十八章 當直將校、副直將校	五三一
第十九章 機關科當直將校、機關科副直將校	五三六
第二十章 乘組特務士官、准士官	五三九
第二十一章 乘組兵員	五四九

〔海三十八〕 諸一ノ九三

艦船職員服務規程

綱領

一 艦船ハ名譽アル歴史ヲ保有シ崇高ナル國家的精神ノ下ニ結

合シテ終始分離スヘカラスル海上軍隊ノ基本單位ニシテ乗員ノ爲ニハ存亡ヲ同ウスル干城タルト同時ニ喜戚ヲ偕ニスル家庭タリ故ニ乗員タル者ハ宜シク公私相和シ緩急相援ケ上官ハ躬行實踐以テ部下ヲ指導シ部下ハ誠心誠意以テ上官ニ信賴シ上ノ下ニ接スル寬嚴相濟ヒ恩威竝ニ行ハルルコト師父ノ子弟ニ於ケルカ如ク下ノ上ニ對スル專ラ恭敬ヲ主トシ其ノ教訓ヲ恪守シ之ヲ仰クコト猶子弟ノ師父ニ於ケルカ如ク上下融合全艦ヲ舉ケテ一心同體ト爲リ艦ノ任務ヲ安全ニ遂行スルニ努力スヘシ

二 軍紀ハ軍人ノ精神ヲ統一スヘキ軍隊ノ生命ニシテ所謂萬人ノ心ヲ以テ一人ノ心ノ如クナラシムルモノナリ是ヲ以テ艦船ノ軍紀ハ最嚴肅ニシテ一絲モ紊レス寸毫モ弛フナク上ハ艦船ノ長ヨリ下ハ兵卒ニ至ルマテ宜シク脈絡ヲ一貫シテ之ヲ保持セサルヘカラス而シテ軍紀ノ嚴肅ハ軍人各個ノ精神

三

ヲ鍛練スルニ因リテ始メテ之ヲ期シ得ルモノトス故ニ艦船ノ乗員ハ造次ニモ顛沛ニモ 勅諭ノ旨趣ヲ奉體シテ專ラ軍人精神ヲ涵養シ公務ニ從フニ方リテハ勿論坐臥寢食ノ末ニ至ルマテ至誠ヲ以テ終始シ知行一致廉恥ヲ尚ヒ節義ヲ重シ死生ノ間ニ從容トシテ軍人タルノ本分ヲ全ウスヘシ

軍隊ノ精強ハ主トシテ其ノ實力ノ完備ニ須ツ故ニ艦船ノ教育訓練ハ軍人精神ノ鍛練軍紀風紀ノ振肅ト共ニ真正ノ實力ヲ培養スルヲ以テ其ノ本旨トシ克ク終局ノ目的ニ鑑ミ輕重ヲ審ニシ本末ヲ揣リ其ノ方法手段ヲ愆ルコトナク著實眞率ニ戰鬪實力ノ充實練磨ヲ圖ルヘシ

四

軍隊ノ士氣ハ常ニ旺盛ニシテ堅ヲ摧キ銳ヲ挫クノ概無カルヘカラス困苦缺乏ヲ常トスル艦船ニ於テ殊ニ然リトス故ニ乗員タル者ハ元氣充實常ニ攻撃精神ヲ振起シ剛勇沈毅小敵ヲ侮ラス大敵ヲ恐レシテ緩急ニ應スルノ覺悟ヲ有シ又其ノ職責ヲ竭スニ方リテハ猛然トシテ苦ニ堪ヘ敢然トシ云難ニ赴キ水火モ尙避ケサルノ氣力アルヲ要ス而シテ旺盛ナル士氣ハ剛健ナル身體ニ須ツモノ多シ精神如何ニ洋溢スルモ

體力之ニ伴ハスンハ之ヲ遂行スルニ由ナキヲ以テ乗員タル者ハ居常衛生ヲ重シシ體格ヲ鍊リ事ニ臨ミテ勇往邁進百折不撓ノ素質ヲ涵養セサルヘカラス

五 命令ハ軍隊活動ノ源泉ニシテ確實且適切ナルヲ要シ又一度命シタルコトハ命令者ニ於テ其ノ實行ヲ監視シ之カ徹底ヲ期セサルヘカラス而シテ或ハ不確實ナル命令ヲ發シ受令者ヲシテ適從スル所ヲ知ラサラシメ或ハ不適當ナルコトヲ要求シテ其ノ實行ヲ困難ナラシメ或ハ受令者ノ怠慢ヲ看過シテ之カ督勵ヲ忽ニスルカ如キハ命令者トシテ深ク之ヲ戒メサルヘカラス

六 軍隊ニ於ケル服從ハ絶對的ニシテ軍人第二ノ天性タラザルヘカラス從テ一旦命令ヲ受ケタルノ後或ハ其ノ行ヒ難キヲ訴ヘ或ハ其ノ實行ヲ懈リ或ハ其ノ當否ヲ議スルカ如キハ斷シテ之ヲ許スヘカラス然レトモ命令ノ實施ニハ獨斷專行ヲ要スルコト尠カラサルモノニシテ緊急ノ場合狀況ノ變化ニ際シ更ニ指令ヲ受クルノ違ナキトキハ須ラク命令者ノ意圖ヲ忖度シ獨斷專行宜シキヲ得テ機會ニ投合セサルヘカラス而モ獨斷專行ハ服從ノ精神ト相悖ルモノニ非スシテ常ニ命

令者ノ意圖ノ範圍内ニ於テシ決シテ擅恣ニ陥ルコトナキヲ要ス

七 體ハ用ノ資ナリ體備ラスンハ用ノ妙ヲ望ムヘカラス故ニ艦船ノ乗員タル者ハ用意縝密細大漏スコトナク常ニ船體兵器機關需品等即チ艦船ノ實體ヲ愛護尊重シ之カ保存整備ニ努ムルト同時ニ艦船ノ保安ニ關シテハ特ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ最善ノ努力ヲ費シ以テ其ノ任務遂行上寸毫ノ違算ナキヲ期スヘシ

今左ニ二三ノ例ヲ擧ケテ保安上特ニ留意スヘキ要綱ヲ示ス

- (一) 衝突豫防ノ第一義ハ嚴密ナル見張ヲ爲スニ在リ
- (二) 險惡ナル天候ニ打勝ツヘキ方法ハ毎二十二分ノ豫防ヲ爲スニ在リ
- (三) 水路ノ安全ニ關シテハ頼ムヘキモノハ圖誌ナリト雖實際ノ過失ハ多ク圖誌ノ妄信ニ由來ス而シテ又自己ノ所信ノ動搖スルトキハ是宜シク止マルヘキ時期ナリトス

八 典則ノ形式ハ末ニシテ精神ハ本ナリ故ニ克ク其ノ精神ニ基キ運用宜シキニ適セスンハ其ノ效用ヲ全ウスルヲ望ムヘカ

第二類 官制 艦船職員服務規程

四八二

ラス本規程ノ掲クル所實ニ數百條ノ多キニ達スト雖固ヨリ
複雑窮リナキ萬般ノ事項ヲ網羅スルモノニ非ス各級職員克
ク本規程ノ精神ヲ體シ其ノ任務ヲ自覺シ躬ヲ以テ其ノ責ニ
任シ機宜ニ應シテ之カ活用ヲ完カテシムルコトヲ庶幾スヘ
シ

第一章 總則

第一條 本規程ハ艦船ノ職員日常ノ勤務ヲ行フニ當リ準據スヘ
キ事項ヲ規定ス

特ニ規定アルモノノ外軍艦以外ノ艦船職員中驅逐艦長、潛水
艦長、海防艦長、輸送艦長、水雷艇長、掃海艇長、驅潛艇長、
敷設艇長、哨戒艇長、特務艦艇長及雜役船長ハ艦長ニ關スル
規定ニ準シ其ノ他ノ職員ハ副長以下軍艦諸職員ニ關スル規定
ニ準シ服務スヘシ

第二條 驅逐隊、潛水隊、砲艦隊、海防隊、輸送隊、水雷隊、
掃海隊、驅潛隊、防備隊、航空隊、通信隊、海兵團、警備隊
及潛水艦基地隊職員並司令部附特務士官以下ノ勤務ニ關シテ
ハ爲シ得ル限本規程ヲ準用ス

第二章 艦長

第三條 艦長ハ一艦ノ首腦ナリ諸法規ノ示ス所ニ依リ上長ノ命
スル所ニ從ヒ副長以下乗員ヲ指揮統率シテ百般ノ艦務ヲ總理
シ其ノ職責ヲ盡スニ遺算ナキヲ期スヘシ

第四條 艦長ハ艦ノ構造、操縦上ノ性能及兵器機關等ノ能力ヲ
知悉シ之カ活用ニ付充分ノ研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能
ヲ發揮セシムルコトヲ努ムヘシ

第五條 艦長ハ艦内ノ編制諸般ノ部署及戰則ヲ定メ之ニ依リ統
意乗員ヲ訓練シ又常ニ之カ適否ヲ研究シテ其ノ改善ヲ圖ルヘ
シ

第六條 艦長ハ艦ノ内規ヲ制定シ所屬長官ノ認許ヲ受ケ之ヲ施
行スヘシ

第七條 艦長ハ艦ノ諸作業ヲ督シ總員ノ配置ヲ要スルモノニア
リテハ自ラ其ノ號令ヲ掌ルヘシ但シ時宜ニ依リ副長ヲシテ之
ニ當ラシムルコトヲ得

第八條 艦長ハ總員名簿ヲ備ヘ常ニ乗員ノ氏名及其ノ官職位勳
爵等ヲ明ナラシムヘシ

第九條 艦長ハ艦内通達簿ヲ備ヘ所要ノ令達告示等ヲ記載シ關
係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第十條 艦長ハ艦橋命令簿ヲ備ヘ航海碇泊ヲ問ハス當直勤務ニ
關スル必要ナル令達注意等ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セ
シムヘシ

第十一條 艦長ハ乗員ヲシテ必要ナル諸法規令達ヲ周知會得セシメ又其ノ新ニ發布者ハ改正アリタル場合ニハ速ニ之ヲ知悉セシムルコトヲ努ムヘシ

第十二條 艦長ハ准士官以上及下士官以下ノ配置表、日課週課表、必要ナル諸法規ノ拔萃及船體、管系竝防水區劃ノ圖等ヲ便宜ノ場所ニ揭示シ日常乗員ノ之ヲ覽ルニ便ナラシムヘシ

第十三條 艦長ハ時時必要ノ職員ヲ從ヘ艦内各部、乗員及物件ヲ點檢シ其ノ結果ニ付講評訓示ヲ與フルヲ例トス

第十四條 艦長ハ成ルヘク毎年一回及必要ノ都度艦ノ運動力要素ヲ檢測シ其ノ成績ヲ軍令部總長及所屬長官ニ報告スヘシ戰鬪力要素中變更セルモノアルトキ亦同シ

第十五條 艦長ハ定期ニ日誌、記錄、要誌等ヲ査閲シ其ノ記註ヲ正確適切ナラシムルコトニ注意スヘシ

第十六條 艦長ハ諸法規、操式、教範及艦ノ構造、艦裝竝兵備品ノ種目數量其ノ他一般海軍軍事ニ關シ改善ヲ要スルモノアルヲ認ムルトキハ意見ヲ所屬長官ニ具申スヘシ

第十七條 艦長ハ戰鬪後速ニ艦内諸般ノ事物ヲ整頓シテ爾後ノ

戰鬪ニ備ヘ又戰鬪中ニ於ケル乗員ノ行爲、死傷者及拔群ノ偉功ヲ奏シタル者ノ氏名竝船體兵器機關需品其ノ他諸物件ノ毀損及消耗ヲ直屬上官ニ報告スヘシ

第十八條 艦長ハ艦全般ノ教育訓練ヲ主宰シ且之ヲ勵行シテ常ニ其ノ最終ノ目的ニ鑑ミ艦ノ戰鬪能力ヲ極度ニ充實練スヘシ

教育

第十九條 艦長ハ砲術其ノ他ノ技術ニ付研究實驗シタル事項ニシテ斯術ノ進歩改良ニ資スヘシト認メタルモノアルトキハ之ヲ所屬長官ニ報告シ且其ノ關係ニ從ヒ當該學校長、海兵團長又ハ海軍練習航空隊ノ司令ニ通報スヘシ此等ニ關スル報告書類ヲ提出スルトキ又ハ公試成績表ノ交付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二十條 艦長ハ練習又ハ研究ノ爲臨時乘組アルトキハ士官中ニ教育主任又ハ指導官ヲ定メ又要スレハ特務士官以下ニ之ヲ補助ヲ命ジテ之ヲ指導教育シ其ノ練習又ハ研究ノ目的ヲ達セシムルコトヲ努ムヘシ多數ノ新乘艦者ニ對シ特別ノ教育ヲ行フノ必要ヲ認ムルトキ亦同シ

紀律

第二十一條 艦長ハ其ノ艦ノ軍紀風紀ヲ嚴肅ナラシメ紀律ヲ維持シ乗員ヲシテ諸法規、令達ヲ服膺遵守セシムヘシ

第二十二條 艦長ハ常ニ艦ノ外見容儀ヲ整ヘ軍艦タルノ威嚴ヲ保持シ殊ニ禮儀ヲ施行スルニ當リテハ一層此ノ點ニ注意スヘシ

第二十三條 艦長ハ乗員ヲシテ制規ノ敬禮ヲ嚴格ニ施行セシメ又乗員ノ服裝ヲ規定ニ適合セシメ且端正ナラシムヘシ

第二十四條 艦長ハ其ノ艦港灣船渠ニ在ルトキハ乗員ヲシテ各其ノ規則ヲ遵守セシムヘシ

第二十五條 艦長ハ乗員ヲシテ嚴ニ軍機ヲ保護セシムルコトヲ努メ之カ爲必要ト認ムルトキハ乗員ニ對シ他ト交通シ又ハ檢閱ヲ經スシテ一切ノ私信ヲ發送スルヲ禁スルコトヲ得

第二十六條 艦長ハ祕密圖書其ノ他機密書類ノ取扱ヲ監督シ其ノ保管者交代ノ際ハ嚴密ニ其ノ引繼ヲ履行セシムヘシ

保安

第二十七條 艦長ハ航海碇泊ヲ問ハス艦ノ保安ニ關シ全責任ヲ有シ常ニ十分ナル注意ヲ拂ヒテ危難ヲ未然ニ防止スルコトヲ努ムヘシ

第二十八條 艦長ハ常ニ其ノ地方及季節ニ應シ氣象ノ變化ニ注

意シ荒天ニ對シ充分ナル警戒ヲ爲スヘシ

第二十九條 艦長ハ艦ノ保安上其ノ他臨機ノ必要ニ迫リ上級指揮官ノ指令ヲ仰クノ違ナキトキハ直ニ定位ヲ離レ又ハ錨地ヲ變更スル等機宜ノ處置ヲ執ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ速ニ之ヲ上級指揮官ニ報告スヘシ

第三十條 艦長ハ艦ノ保安上其ノ他急速出港ノ必要ニ應シ已ムヲ得ス捨錨ヲ行ヒタルトキハ其ノ位置ヲ明瞭ナラシメ置クコトニ注意スヘシ此ノ場合ニ於テハ事後速ニ之ヲ上級指揮官ニ報告スヘシ

第三十一條 艦長ハ其ノ艦測量充分ナラサル地ニ投錨シ又ハ錨地ノ不安ヲ認ムルトキハ其ノ附近ノ水深及底質ヲ測定シ之ヲ航泊日誌ニ記載スヘシ

第三十二條 艦長ハ其ノ艦遭難シタルトキハ損害ヲ最小ニ抑止スルコトヲ努メ且速ニ其ノ時刻、場所、天候、海上ノ模様、附近ノ水深、損害ノ大要其ノ他救援ノ爲必要ナル遭難ノ概況ヲ海軍大臣及所屬長官ニ報告スヘシ

第三十三條 艦長ハ其ノ艦遭難ニ際シ之ヲ救護スルノ術全ク盡キタルトキハ 御寫眞ヲ守護シ乗員ノ生命ヲ救助シ且重要ナ

ル書類物件等ヲ保護シテ最後ニ退艦スヘシ殊ニ機密書類及軍機兵器ノ類ハ主管者ニ其ノ處分ヲ命シ又ハ自ら之ヲ保護シ己ムヲ得サルトキハ適宜他見ヲ防止スヘキ處置ヲ施スヘシ此ノ場合ニ於テハ直ニ之ヲ海軍大臣及所屬長官ニ報告スヘシ

第三十四條 艦長ハ公務又ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外乗員ノ半數以上ヲシテ一時ニ艦ヲ離レシムヘカラス而シテ之カ區分ハ各科各職別及官階職階ニ從ヒ如何ナル場合ニ於テモ艦ノ乗務及保安竝紀律ノ保持ニ支障ナカラシムヘシ

第三十五條 艦長其ノ艦ヲ離ルルトキハ必ス副長又ハ艦ノ保安及艦務遂行ニ任セシムルニ適當ナル中少佐小艦ニ在リテハ少佐大尉ヲシテ在艦セシムヘシ

第三十六條 艦長ハ其ノ艦ヲ入渠セシムルトキハ規定ニ依リ爆發性危險物ヲ艦外ニ移シ又必要ニ應シ重量物ヲ卸シテ船體ノ重量ヲ輕減シ縱横ノ傾斜ヲ調整シ且入渠中ハ工事ニ必要ナルサル重量物ノ移動及船體ニ激震ヲ及ホスヘキ動作ヲ避ケシメ甲板ノ洗滌其ノ他舷外ヘノ排水ヲ禁シ特別防火部署ヲ制定スヘシ

第三十七條 艦長ハ彈藥其ノ他爆發性危險物ノ保存取扱其ノ取

締ニ關シテハ特ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ諸規定ヲ嚴守シ各主管者ヲ指揮監督シテ保安上寸毫モ遺憾ナカラシムルコトヲ期スヘシ

艦長ハ保安上緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ前項ノ諸物件ニ對シ投棄燒却注水等臨機適當ト認ムル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 艦長ハ彈火藥庫重油「タンク」其ノ他爆發物ヲ貯藏スル場所又ハ爆發性瓦斯發生蓄積ノ虞アル場所ニ於テハ電燈若ハ安全裝置ヲ有スル提燈ノ外使用セシムヘカラス

艦政

第三十九條 艦長ハ船體、兵器、機關、艦船艤裝品及機關附屬物ノ検査、修理、手入ヲ勵行シ且兵備品ヲ充實整頓シテ艦ノ保存整備ヲ努ムヘシ

第四十條 艦長ハ當該主管者及分擔者ヲシテ時時防水扉蓋、錨、錨鎖、揚錨艇裝置其ノ他大ナル重量ヲ負荷スヘキ部分、防火防水排水通風及舵取裝置並兵器機關ノ主要部等ヲ検査シテ其ノ成績ヲ報告セシムヘシ

第四十一條 艦長ハ消防唧筒、排水唧筒、防水扉蓋、錨、錨鎖等ノ現狀ニ注意シ又防水扉蓋、堰戸弁、通風弁、二重底空氣弁、水防

管弁等ノ開閉時期ヲ定メ各其ノ附近ニ之ヲ揭示スヘシ

第四十二條 艦長ハ航海長ヲシテ確實ニ原基羅鍼儀ノ自差ヲ修

正又ハ測定シ置カシムヘシ大修理ニ從事シ若ハ二箇月以上舳

艦竊泊シタル後又ハ戰鬪後等ニ於テハ特ニ之ヲ行ハシムヘシ

第四十三條 艦長ハ艦内最大ノ短艇ハ其ノ艦最重ノ錨ヲ運搬ス

ルニ堪ルヤ否ヤ又總短艇ハ乘員全部ヲ搭載スルニ堪フルヤ否

ヤヲ確認シ若シ其ノ堪ヘサルコトヲ認ムルトキハ之ニ對シ相

當ノ方法ヲ講究準備シ置クヘシ

第四十四條 艦長ハ時時艦内各部ノ電燈ヲ滅シ代用燈ノ準備及

效力ヲ試驗スヘシ

第四十五條 艦長ハ修理ヲ要スルモノアルトキハ爲シ得ル限他

ノ助力ヲ藉ルコトナク艦内ノ工作力ヲ以テ之ヲ完成スルコト

ヲ努ムヘシ

第四十六條 艦長ハ其ノ艦擱岸、坐礁、衝突、火災等ノ變ニ遭ヒ

又ハ船體、兵器、機關、艦船機裝品、機關附屬物等ヲ毀損シ若ハ

亡失シタルトキハ輕微ナルモノヲ除クノ外其ノ原因理由及之

ニ對シ施シタル處置等ヲ具シ速ニ之ヲ海軍大臣及所屬長官ニ

報告スヘシ

第四十七條 艦長ハ船體機關ノ移動部、艦船機裝品、機關附屬物

及兵備品ヲ搭載貯藏スルニハ必ス所定ノ場所ニ於テスヘシ若

船體ノ釣合吃水其ノ他ノ理由ニ依リ所定ノ場所ヲ變更スルヲ

要スルトキハ所屬長官ノ認許ヲ受クヘシ

第四十八條 艦長ハ自己ノ許可ナクシテ危險物其ノ他規定以外

ノ物品ヲ艦内ニ搭載セシムヘカラス若此等物品ノ搭載ヲ許可

シタルトキハ其ノ場所ヲ指示シ要スレハ之カ取締方法ヲ定メ

テ之ヲ嚴守セシムヘシ

第四十九條 艦長ハ規定ニ依ルノ外所屬長官ノ認許アルニ非サ

レハ艦ノ搭載物ヲ陸上ニ貯藏スルコトヲ得ス但シ非常ノ場合

ハ此ノ限ニ在ラスト雖事後速ニ之ヲ所屬長官ニ報告スヘシ

第五十條 艦長ハ規定ニ依ルノ外所屬長官ノ認許アルニ非サレ

ハ兵備品ヲ購買シ人畜舟車ヲ雇ヒ又ハ土地建物等ヲ借ルコト

ヲ得ス但シ外國ニ在ル場合又ハ至急ヲ要スル場合ニ於テ所屬

長官ノ認許ヲ俟ツノ違ナキトキハ此ノ限ニ在ラスト雖事後速

ニ之ヲ所屬長官ニ報告スヘシ

第五十一條 艦長ハ賞罰ヲ明ニシ公平無私寬嚴宜シキニ適フコ

トニ注意スヘシ

第五十二條 艦長ハ乗員ニシテ衆人ノ模範ト爲スヘキ行爲アリ

タルトキハ之ヲ全艦ニ布告スルト共ニ其ノ官職氏名及行爲ノ要領ヲ海軍大臣、所屬長官、本人在籍鎮守府司令長官ニ報告シ且表彰簿ヲ備ヘテ之ヲ記録スヘシ

第五十三條 艦長ハ艦内ニ於ケル懲罰ノ施行ヲ監督シ懲罰權者

ノ乗員ニ科セムトスル懲罰ノ言渡文ヲ査閲シ又懲罰簿ヲ備ヘ之ヲ記録セシムヘシ

第五十四條 艦長ハ犯件簿ヲ備ヘ時々之ヲ査閲シテ下士官以下

乗員犯行ノ狀況及之ニ對スル處分ノ適否ヲ檢スヘシ

第五十五條 艦長ハ准士官以上ノ乗員ニシテ刑法又ハ懲罰令ニ

觸レサルモ軍紀風紀ノ維持上不問ニ付スヘカラスト認ムル者アルトキハ之ニ誠告ヲ加ヘ若ハ相當ノ處置ヲ爲シ將來ニ對シテ慎重ナル注意ヲ促シ必要ト認ムル者アルトキハ之ヲ海軍大臣及所屬長官ニ報告スヘシ

第五十六條 削除

人事

第五十七條 艦長ハ艦内ノ配員ヲ適切ナラシメ適材ヲ適所ニ置

キ以テ乗員ヲシテ各其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ努ムヘシ

第五十八條 艦長ハ乗員就中准士官以上ノ材幹、性行、技能及

健否ヲ察知シ常ニ其ノ勤務ノ狀況ニ注意シ之カ考課銓衡ヲ劃切ナラシムヘシ

第五十九條 艦長ハ准士官以上ノ配置ヲ定メ又衛兵司令、酒保

委員其ノ他准士官以上ノ必要ナル諸掛員ヲ命免スヘシ

第六十條 削除

第六十一條 艦長ハ准士官以上ノ職員他ニ轉職シタルトキハ新

任者ニ其ノ職務ヲ引繼カシメタル後速ニ退艦出發セシムルヲ例トス但シ新職務ノ性質上急速ノ赴任ヲ必要トスルカ又ハ新任者ノ來著長時日ヲ要スル場合ニハ艦務ニ支障ナキ限代理者ヲ指定シ其ノ職務ヲ引繼カシメ退艦セシムルコトヲ得

第六十二條 艦長他ニ轉職シタルトキ其ノ出發ニ關シテハ前條

本文ノ規定ニ準スルモノトシ但書ノ場合ニ於テハ外國ニ派遣中ノ外必要ニ應シ所屬長官ノ認許ヲ得テ新任者ノ來著ヲ待ツコトナク其ノ職務ヲ部下首席兵科將校ニ引繼キ退艦スルコトヲ得

第六十三條 艦長ハ乗員又ハ便乘者中生死不明ノ者アルトキハ

其ノ官職、氏名及當時ニ於ケル狀況ノ大略等ヲ具シ海軍大臣、

所屬長官、本人在籍鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

第六十四條 艦長ハ艦内ニ變死人又ハ變死人ト思料スヘキ者アルコトヲ知リタルトキハ海軍軍法會議法第二百三十一條以下ノ規定ニ從ヒ處理スヘシ

航海

第六十五條 艦長ハ航海ニ先チ出勤時日、目的地、豫定航路及速力ヲ定メテ之ヲ指令スルヲ例トス航海中豫定ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第六十六條 艦長ハ航海中適宜航海長又ハ當直將校ヲシテ艦ノ操縦ニ任セシムルコトヲ得但シ航行操縦上特ニ慎重ナル注意ヲ要スルトキ其ノ他必要ト認ムル場合ニハ隨時自ラ直接之ニ當ルヘシ此ノ場合ニ於テハ現ニ艦ノ操縦ニ從事シツアル航海長又ハ當直將校ニ之ヲ通告シ區分ヲ明ナラシムルヲ要ス但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條 艦長ハ針路ノ變換又ハ速力ノ増減ニ際シテハ必ス自己ノ命令又ハ許可ヲ待タシムヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テ其ノ違ナク副長、航海長又ハ當直將校ノ獨斷專行ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラスト雖事後速ニ之ヲ自己ニ報告セシムヘシ

第六十八條 艦長ハ自ラ針路ヲ變換シ又ハ速力ヲ増減スルトキハ之ヲ航海長及當直將校ニ通告シタル後實行スヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 艦長ハ航海中其ノ單獨タルト編隊タルトヲ問ハス常ニ其ノ艦位ヲ熟知シ編隊中艦位ニ關シ保安上意見ヲ有スルトキハ之ヲ上級指揮官ニ報告スヘシ

第七十條 艦長ハ海上衝突豫防法ヲ遵守シ且一般船舶ニシテ之ヲ勵行セサルモノアルヲ認メタルトキハ其ノ時日、場所、船舶名、違法ノ要領等事實ヲ具シ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第七十一條 艦長ハ航海中艦橋檣樓其ノ他適宜ノ位置ニ見張員ヲ配シ艦外ニ對スル監視ヲ怠ラサルコトニ注意シ殊ニ夜間、霧中又ハ危險物存在ノ虞アル海面ニ於テハ一層之ヲ嚴密ニスヘシ

第七十二條 艦長ハ其ノ艦陸地、岩礁、淺灘等ノ近傍ヲ航行スルトキ、航路稍不安ナリト認ムルトキ、狹隘ナル水路ヲ通航スルトキ、濃霧ニ會シタルトキ又ハ陣形運動ニ從事スルトキハ特ニ艦ノ操縦保安ニ注意シ必要ニ應ジ投錨ノ準備、防水扉蓋舷窓砲門ノ閉鎖、水深ノ測定等諸般ノ警戒ヲ爲シ且之ヲ機關室

ニ豫報シ機關ノ操縱ニ注意セシムヘシ

第七十三條 艦長ハ前條ノ場合及出入港其ノ他航行操縱上特ニ注意ヲ要スルトキ竝屢變針ヲ要スル海面ヲ航行スル場合ニ於ケル艦ノ操縱ハ自ラ之ニ任スルトキヲ除クノ外航海長ヲシテ之ニ當ラシムヘシ但シ驅逐艦、潛水艦、水雷艇及掃海艇ニ在リテハ艦艇長自ラ之ニ任スルヲ例トス

第七十四條 艦長ハ水路圖誌ノ誤謬遺漏ヲ發見シ又ハ未測ノ港灣ニ到リタルトキハ成ルヘク實測ヲ施シ略圖ヲ調製シテ之ヲ水路部長ニ通報スヘシ

第七十五條 艦長ハ其ノ艦航海ノ際氣象水路及寄港地ノ狀況等ニ關シ航海資料トシテ有益ナル事項ヲ經驗聞知シタルトキハ航海報告ヲ調製シテ所屬長官ニ提出シ且其ノ寫一通ヲ水路部長ニ送付スヘシ

第七十六條 艦長ハ沈船又ハ航行ノ妨碍トナルヘキ浮流物ヲ發見シタルトキハ狀況ノ許ス限其ノ位置ヲ精測シ且爲シ得レハ之レヲ除去スル爲適當ノ手段ヲ執リ之ヲ水路部長ニ通報スヘシ

第七十七條 艦長ハ水路嚮導區内又ハ航路不明ナル場所ニ於テハ水先人ヲ備役スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ嚴重ニ其ノ操縱ヲ監視シ危險ト認ムル場所ニ艦ヲ運行セシムヘカラス

第七十八條 艦長ハ其ノ艦他艦船ト衝突シタルトキハ航海長、

當直將校其ノ他必要ト認ムル職員ヲシテ衝突ニ關スル事實ノ顛末就中左記事項ノ明細書ヲ提出セシメ自己ノ報告ト共ニ之ヲ海軍大臣及所屬長官ニ進達スヘシ

〔海八〕

一 我カ艦名竝ニ艦長、航海長及當直將校ノ官氏名

二 衝突ノ時刻、場所、對手艦船名、其ノ國籍、所有主及艦船長氏名

三 衝突前後ニ於ケル風向、風力天候海上ノ模様、潮流ノ方向速力其ノ他四圍ノ狀況

四 我カ艦ノ發程地、目的地、針路艦首方向、速力、燈光、機關操舵ノ狀態其ノ他衝突前ニ於ケル我カ艦ノ狀況

五 始メテ對手艦船ヲ發見シタル時刻、方位、距離及燈光ノ狀況

六 對手艦船ノ推測針路艦首方向、速力、燈光、信號、運用ノ狀態其ノ他衝突前ニ於ケル對手艦船ノ狀況

七 衝突ヲ避クル爲我カ艦ニ於テ施シタル處置

八 彼我艦船ノ始メテ相觸レタル部分、交角及其ノ後ノ狀況

九 衝突後彼我艦船ノ施シタル處置

十 彼我艦船損害ノ狀況成ルヘク見取圖ヲ添付スルヲ要ス

十一 彼我艦船ニ水先人ノ有無

擱岸坐礁ノ場合ニハ前項ニ準ス

監直

第七十九條 艦長ハ當直將校ノ勤務ニ服スヘキ中佐タル職員ニ

碇泊中當直勤務ヲ課セサルヲ例トス但シ必要ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七十九條ノ二 艦長ハ已ムヲ得サル場合ノ外甲板士官、掌内

務長、掌航海長、掌砲長、掌水雷長、掌機雷長、掌通信長、掌飛行長其ノ他乗組特務士官（兵曹長及飛行兵曹長出身ノ者以下（水）トアルハ兵曹長出身ノ者、（飛）トアルハ飛行兵曹長出身ノ者トス）竝ニ水兵科及飛行科准士官ニシテ乗組尉官又ハ中少尉ノ定員ノ配置ニ在ラサル者ニ當直勤務ヲ課セサルヲ例トス但シ選修學生教程ヲ修了シタル特務士官（水）及（飛）竝ニ水兵科及飛行科准士官ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第八十條 艦長ハ當直將校、副直將校、機關科當直將校及機關

科副直將校ノ勤務ニ服スヘキ職員ニシテ其ノ職務特ニ繁忙ナルコトヲ認ムル場合ニハ適宜ノ期間其ノ當直勤務ヲ免スルコトヲ得

第八十一條 艦長ハ航海中航海長、操舵長、信號長及見張長ニ

當直勤務ヲ課セサルヲ例トス

前項ノ外艦長ハ出航前及投錨後若干時間航海長ニ當直勤務ヲ課セサルヲ例トス

第八十二條 艦長ハ當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者航海中三名以

下、碇泊中五名以下ナルトキハ乗組中少尉又ハ中少尉（水）及（飛）ヲシテ當直將校ノ勤務ヲ爲サシムルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テ當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者ノ全數ハ航海中四名、碇泊中六名ヲ超過スルコトヲ得ス

第八十三條 艦長ハ碇泊中當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者乗組中

少尉又ハ中少尉（水）及（飛）ヲ加ヘ五名以下ナルトキハ佐尉官監視ノ下ニ少尉候補生、兵曹長又ハ飛行兵曹長ヲシテ當直將校ノ勤務ヲ執ラシムルコトヲ得但シ此ノ場合當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者ノ全數ハ六名ヲ超過スルコトナク又監視ノ佐尉官ヲシテ航泊日誌ニ署名シ當直ノ責ニ任セシムヘシ

第八十四條 艦長ハ副直將校ノ勤務ニ服スヘキ者航海中三名以

下、碇泊中五名以下ナルトキハ適宜副直將校ヲ置カス又ハ少尉候補生ヲシテ副直將校ノ勤務ヲ執ラシムルコトヲ得

第八十五條 艦長ハ機關科當直ノ勤務ニ服スヘキ中佐タル職員

又ハ掌機長及電機長タル職員ニ當直勤務ヲ課セサルヲ例トス

第八十六條 艦長ハ機關科當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者航海中

三名以下、碇泊中二名以下ナルトキハ乗組中少尉及中少尉

(機關兵曹長出身ノ者以下(機)トアルハ機關兵曹長出身ノ者

トス)ヲシテ機關科當直將校ノ勤務ヲ爲サシムルコトヲ得但

シ此ノ場合機關科當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者ノ全數ハ航海

中四名、碇泊中三名ヲ超過スルコトヲ得ス

長期ノ連續航海ヲ行フトキ又ハ熱帶地方行動中ノ如ク航海中

機關科當直勤務ノ勞苦特ニ大ナル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ

拘ラス乗組中少尉及中少尉(機)ヲ加ヘテ機關科當直將校ノ勤

務ニ服スヘキ者ノ全數ヲ六名迄増加スルコトヲ得

第八十七條 艦長ハ機關科當直將校ノ勤務ニ服スヘキ者乗組中

少尉、中少尉(機)ヲ加ヘ航海中三名以下碇泊中二名以下ナル

トキハ機關科當直將校タルヘキ佐尉官特務士官監視ノ下ニ少

尉候補生又ハ機關兵曹長ヲシテ機關科當直將校ノ勤務ヲ執ラ

シムルコトヲ得但シ此ノ場合機關科當直將校ノ勤務ニ服スヘ

キ者ノ全數ハ航海中四名、碇泊中三名ヲ超過スルコトナク又

監視ノ機關科當直將校タルヘキ佐尉官特務士官ヲシテ機關日

誌ニ署名シ當直ノ責ニ任セシムヘシ

機關科當直將校タルヘキ佐尉官特務士官二名以下ナルトキハ

前項ノ規定ニ拘ラス碇泊中ニ限リ少尉候補生又ハ機關兵曹長

ヲシテ機關科當直將校ノ勤務ヲ執ラシムルコトヲ得但シ此ノ

場合ニ於テ機關科當直將校ノ勤務ニ服スル者ノ全數ハ三名ヲ

超過スヘカラス

第八十八條 艦長ハ機關科副直將校ノ勤務ニ服スヘキ者航海中

三名以下、碇泊中二名以下ナルトキハ適宜機關科副直將校ヲ

置カス又ハ少尉候補生ヲシテ機關科副直將校ノ勤務ヲ執ラシ

ムルコトヲ得

第八十九條 艦長ハ艦船令第六條第三項ノ職員又ハ臨時乗組タ

ル將校ヲシテ其ノ官階ニ應シ適宜當直勤務ニ服セシムルコト

ヲ得又少尉候補生ハ當直少尉候補生トシテ當直將校又ハ機關

科當直將校ノ命ヲ承ケ當直勤務ヲ爲サシムルヲ例トス

第九十條 艦長ハ當直將校又ハ機關科當直將校ノ所掌ニ屬スル事項ヲ自ラ行ハントスルトキハ之ヲ當直將校又ハ機關科當直將校ニ通告シタル後施行スヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

機關

第九十一條 艦長ハ其ノ艦速力試驗標柱ヲ設置シアル場所ノ附近ヲ航行シ又ハ正確ニ艦ノ速力ヲ測定シ得ル機會ニ於テハ艦ノ速力、主機械回轉數及馬力ノ關係ヲ計測シ艦底ノ淨否及喫水ノ深淺ニ對スル速力ノ變化ヲ了知スヘシ

第九十二條 艦長ハ成ルヘク濕潤セル石炭ヲ搭載セシムルコトナク又石炭庫及重油「タンク」ノ通風ヲ適當ナラシメ其ノ溫度ヲ過昇セシメサルコトニ注意スヘシ

第九十三條 艦長ハ機關ノ現狀カ其ノ發生力量ノ制限又ハ罐使用壓力ノ増減ヲ必要ト認ムルトキハ所屬長官ノ認許ヲ受ケ之ヲ施行シ海軍大臣ニ報告スヘシ

第九十四條 艦長ハ航海中必要ト認ムル場合ニハ水兵員ヲシテ石炭庫内ニ於ケル搬炭作業ニ從事セシムルコトヲ得

醫務

第九十五條 艦長ハ醫務衛生ノコトヲ監督シ乗員ノ健康保持ニ注意シ不健康ノ疑アル者ハ速ニ軍醫長ノ診療ヲ受ケシメ殊ニ

傳染病ノ豫防ニ關シ遺漏ナキコトヲ期スヘシ

第九十六條 艦長ハ入院治療ヲ要スル者アルトキハ之ヲ海軍病院又ハ病院船ニ送ルヘシ

第九十七條 艦長ハ其ノ艦軍港要港以外ノ地ニ在リテ速ニ入院治療ヲ要スル患者發生シタルトキハ之ヲ地方ノ病院等ニ委託シ又必要ニ依リ所屬長官ノ認許ヲ受ケ陸上ニ病室ヲ假設シ之ヲ治療セシムルコトヲ得

第九十八條 艦長ハ其ノ艦軍港要港以外ノ港灣ニ到著シタルトキハ乗員ノ上陸ニ先チ軍醫科士官ヲシテ其ノ地方ノ衛生狀況ヲ視察セシムルカ又ハ在泊艦船、地方官衙等ヨリ之ニ關スル通報ヲ得其ノ狀況ニ依リ適當ノ方法ヲ講スヘシ

第九十九條 艦長ハ傳染病流行地又ハ不健康地ニ寄港シタルトキハ已ムテ得サル場合ヲ除クノ外陸上トノ交通ヲ禁シ且糧食及飲料水等ノ搭載ニ際シ防疫上充分ノ注意ヲ爲スヘシ

第一百條 艦長ハ准士官以上ノ新乘艦者ニ對シテハ軍醫長ヲシテ其ノ健康狀態ヲ検査セシメ成績ヲ所屬長官ニ報告スヘシ

第一百一條 艦長ハ公務死亡者又ハ公務ニ基因スル傷病ニ罹リタル者アルトキハ大正十二年達第二百十七號恩給取扱手續第四條第一號及第二號ニ規定スル書類ヲ調製セシムヘシ

第二百二條 艦長ハ自企若ハ裁判上ニ涉ルト認ムル傷病ニ罹リタル者アルトキハ軍醫長ヲシテ診斷證書ヲ調製セシムヘシ

經理

第二百三條 艦長ハ會計經理ノコトヲ監督シ乘員ニ對スル給與ニ

注意スヘシ

第二百四條 艦長ハ各主管者ニ付時々金錢及兵備品ノ諸帳簿、證

憑書類竝現在金品ヲ檢査シ之カ保管、出納ノ法規ニ適合スル

ヤ否ヤニ注意スヘシ

外交

第二百五條 艦長ハ國際上ノ事件ニ關シテハ特ニ慎重ヲ旨トシ必

ス命令規則及條約ノ範圍内ニ於テ處斷シ若其ノ範圍外ニ涉ル

モノアルトキハ上級指揮官又ハ直接海軍大臣ノ指令ヲ請フヘシ

第二百六條 艦長ハ帝國領海ニ於テ密獵ヲ爲シ其ノ他帝國ノ法規

ヲ破ル所ノ船舶ヲ發見シタルトキハ現行犯ニ限り直ニ之ヲ逮

捕シ適當ノ處分ヲ爲スヘシ而シテ該船舶帝國領海ヲ脱シ外洋

ニ逃ルル場合ニ於テハ之ヲ追跡シテ逮捕スルコトヲ得

第二百七條 艦長ハ海賊國際法上ノヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ逮捕

シテ便宜ノ港ニ引致シ速ニ海軍大臣ニ具申シ其ノ指令ヲ俟テ

之ヲ處分スヘシ

第二百八條 艦長ハ關稅法第五十九條ニ依リ稅關長ヨリ援助ノ請

求ヲ受ケタルトキハ爲シ得ル限り之ニ應スヘシ但シ此ノ場合

ニ於テハ稅關長ノ要求スル船舶ニ對シ先ツ進行停止ヲ命シ該

船舶若之ニ從ハサルトキハ空砲ヲ放チテ之カ注意ヲ促シ尙從

ハサルトキハ命中セサル如ク實彈ヲ發シ而シテ尙之ニ從ハサ

ルトキハ檣樁衝突等ヲ砲擊シ最後ニ其ノ船體ニ及ボスヘシ

第二百九條 艦長ハ艦船ノ坐礁、衝突、火災其ノ他海難ニ遭ヘル事

實ヲ見聞シタルトキハ任務ニ支障ナキ限り相當ノ救護ヲ與フ

ヘシ若天候又ハ任務ノ都合上其ノ船體ヲ救助スルコト能ハサ

ルトキハ成ルヘク人命ヲ救助シテ便宜ノ港灣ニ護送シ之ヲ海

軍大臣及所屬長官ニ報告スヘシ

第三百十條 艦長ハ其ノ艦所在地方ニ火災、風水害、震災等アル場

合ニ於テ必要ト認ムルトキハ地方官憲ト協議シ便宜相當ノ助

力ヲ爲スヘシ

第三百十一條 艦長ハ本邦内ニ於テ外國軍艦ト出會セシトキハ適

宜相當ノ便宜ヲ與フヘシ

雜件

第三百十二條 艦長ハ艦内一般ノ經濟ヲ圖リ諸需要品ヲ節約シ消

耗品等ニシテ定額ノ指定又ハ豫算ノ配付ヲ受クルモノニ在リ

テハ其ノ範圍内ニ於テ處辨スルコトヲ努メシムヘシ

第一百十三條 艦長ハ祝日、祭日、日曜日及其ノ他ノ公暇日ニ於テ

ハ成ルヘク乗員ヲ休養セシムヘシ

第一百十四條 艦長ハ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ風紀ヲ害セサル

程度ニ於テ艦内娛樂ヲ許可スルコトヲ得

第一百十五條 艦長ハ其ノ艦遠隔ノ地ニ行動中他ノ艦船ト出會ス

ルトキハ之ニ就キ又軍港等ニ歸著スルトキハ所在海軍官廳又

ハ他ノ艦船ニ就キ諸法規、信號書、暗號書、水路圖誌等ヲ照合

シ其ノ改補ヲ了知スルコトヲ努ムヘシ

第一百十六條 艦長ハ定期諸報告ノ提出ヲ遅延セシメサルコトニ

注意スヘシ若已ムヲ得サル事故アリテ提出期日ヲ失スルトキ

ハ其ノ理由ヲ該報告書ニ附記スヘシ

第一百十七條 艦長ハ自己ノ命令又ハ許可ナクシテ無線電信ノ發

送又ハ艦長若ハ艦ノ名ヲ以テスル信號ヲ爲サシムヘカラス但

シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラスト雖事後速ニ之ヲ報告セシム

ヘシ

第一百十八條 艦長ハ乗員ヨリ上申、報告、請願、届出等ヲ爲サム

トスルトキハ必ス執務上ノ順序ニ依リ且總テ一旦副長ヲ經由

セシムルヲ例トス但シ金錢兵備品ノ出納其ノ他副長ノ執務ニ

直接關係ヲ有セサル事項及別ニ規定アルモノニ付テハ副長ヲ經由セシムルノ限ニ在ラス

第一百十九條 艦長ハ其ノ艦ノ任務ニ妨ナキ限一齊動作ヲ要スル

作業又ハ艦外ニ顯ルル作業中天幕ノ展疊、洗濯物ノ揚卸等ハ

所在首席指揮官ノ命令ニ從ヒ又ハ其ノ乘艦ニ倣ヒ之ヲ施行ス

ルヲ例トス

第一百二十條 艦長ハ上甲板其ノ他適當ノ位置ニ於テ乗員ノ喫煙

所ヲ定メ其ノ他ノ場所ニ於テ喫煙セシメサルコトニ注意スヘ

シ但シ准士官以上ノ公室ハ此ノ限ニ在ラス

第一百二十一條 艦長ハ乗員ヲシテ艦内空氣ノ流通不良ナル場所

ニ於テ作業セシムル場合ニハ特ニ其ノ通風ヲ良好ナラシムル

コトニ注意スヘシ

第一百二十二條 艦長ハ其ノ艦ノ任務作業及衛生上妨ナキ限り成

ルヘク海軍部外ノ者ニ艦内觀覽ヲ許可スヘシ

第一百二十三條 艦長ハ砲銃射擊、魚雷發射、高速運轉、掃海作

業、演習、教練等ヲ施行スルニ當リテハ所在人民ノ生業、安

全等ニ付注意シ且機密上差支ナキ限り地方ノ官衛公署ニ豫報

スヘシ

第二百二十四條 艦長ハ海軍部内ヨリ物品託送ノ協議ヲ受ケタハトキハ其ノ艦ノ任務及作業ニ妨ナク且事情已ムヲ得スト認ムルモノニ限之ニ應スヘシ

第二百二十五條 艦長ハ其ノ艦外國等ヨリ歸著シ乗員ノ陸揚セムトスル物品中課税品アリト認ムルトキハ相當官憲ト協議ノ上稅關官吏ヲ招致シ之カ検査ヲ請求スルコトヲ得又稅關官吏ヨリ相當ノ手續ヲ經テ乗員ヲ尋問シ又ハ其ノ所持品ヲ點檢セムコトヲ請求スルトキハ成ルヘク之ヲ承諾シ相當ノ便宜ヲ與フルモノトス

第二百二十六條 艦長ハ海軍部内ノ者ニシテ公務ヲ帶ヒ且事情已ムヲ得スト認ムルモノニ限り之ヲ其艦ニ便乗セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ所屬長官ニ報告スヘシ

第二百二十七條 艦長ハ所屬長官ノ命令又ハ認許ヲクシテ海軍部外ノ者ヲ其ノ艦ニ便乗セシムヘカラス但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラスト雖事後直ニ之ヲ所屬長官ニ報告スヘシ

第二百二十八條 艦長ハ便乗者ヲシテ艦内ニ於ケル諸法規ヲ遵守セシメ又必要ト認ムルトキハ便乗者ノ戰鬪、防火、防水等ニ於ケル部署ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十九條 艦長ハ出張旅費ノ前渡金額範圍内ニ於テ乗員ニ出張旅行ヲ命シタルトキハ之ヲ所屬長官ニ報告スヘシ但シ外國ニ在ル場合ニ於テハ豫メ所屬長官ノ認許ヲ受クヘシ

第二百三十條 艦長ハ其ノ艦ニ作業中ノ職工ニ對シテハ勉メテ相當ノ便宜ヲ與ヘ作業ノ進捗ヲ圖リ且其ノ動作行爲ニ對シ適宜監視ノ手段ヲ執ルヘシ

第二百三十一條 艦長ハ其ノ艦軍港又ハ要港ニ到着スルトキハ速ニ當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ニ自己ノ奉スル任務及來意ヲ陳述シ且本艦ノ現狀ヲ申告スヘシ

第二百三十二條 艦長ハ其ノ艦軍港要港其ノ他艦船常泊地以外ニ於テ憲兵所在地又ハ其ノ附近ニ入港碇泊ノ際ハ成ルヘク當該地所管ノ憲兵隊本部又ハ憲兵分隊ニ其ノ旨豫報又ハ通報スヘシ

第二百三十三條 艦長ハ艦船令第十四條及第十五條ノ場合ニ於テハ士官及候補生ニ付テハ之ヲ海軍大臣ニ特務士官及准士官ニ付テハ之ヲ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ
同令第十六條ノ場合ニ於テハ艦長職務執行者又ハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第三百三十三條 艦長其ノ職ヲ退クトキハ艦ノ内外諸部乗員作業

其ノ他諸般ノ狀況、與ヘラレタル任務施行ノ現狀、從來自己ノ執り來レル方針規定其ノ他必要ナル事項ヲ新任者ニ引繼キ

且直接保管ノ諸物件ヲ接受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ所屬長官

ニ報告スヘシ

第三百三十四條 艦長ハ其ノ艦豫備艦ト爲リ將校ヲ置カレサルト

キハ特ニ規定アルモノノ外總テ艦務ヲ本籍鎮守府所在地海軍港務部長ニ引繼キ其ノ就役ノ場合ニ於テハ該港務部長ヨリ其

ノ引繼ヲ受クヘシ

第三百三十五條 艦長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテ

ハ就役準備ヲ督勵シ修理改造工事ヲ監視スヘシ

第三百三十六條 艦長ハ前諸條ニ規定スルモノノ外航空機ヲ搭載

スルトキハ海軍航空隊職員服務規程第一條乃至第八條、第十一條乃至第十五條及第十九條乃至第二十二條ニ規定スル司令ノ職務ニ準シ服務スヘシ

第三百三十七條 潜水母艦ノ艦長ハ潜水艦ノ隊務並ニ潜水艦ノ魚

雷及機雷ノ調整、軍需品ノ保管及補給、工作、醫務衛生、會

計經理及乗員ノ休養等ニ關スル業務ヲ補助スベシ

第三百三十八條 潜水艦長ハ特ニ其ノ艦ノ潛航上ノ性能ヲ知悉シ

之ガ計畫及實施ニ當リテハ常ニ細密ナル考慮ト周到ナル注意トヲ拂ヒ萬遺算ナキコトヲ期スヘシ

第三章 副長

第三百三十六條 副長ハ艦長ノ分身ニシテ艦務百般ノコトニ關シ

艦長ヲ輔佐シ常ニ艦長ノ意圖希望ヲ體認シテ之カ達成ニ努メ又艦長ト乗員トノ連鎖ト爲リ乗員ヲ誘導結束シテ艦内ノ和衷協同ヲ圖ルヘシ

第三百三十七條 副長ハ艦内定期ノ維持ニ任シ艦長ノ命令ヲ執行

シ又艦長ノ旨ヲ體シテ日課及課業ノ施行ヲ管掌シ其ノ他日常ニ於ケル艦内諸般ノ業務ヲ處理スヘシ但シ內務科(運用部ヲ

除ク)、機關科、醫務科及主計科ノミニ屬スル日課及課業ノ施行ハ之ヲ內務長、機關長、軍醫長又ハ主計長ニ委任スルヲ例トス

第三百三十八條 副長ハ艦長事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハ

サルトキハ直ニ之ニ代リテ艦務一切ヲ統理スヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ艦長ノ許可アルニ非サレハ艦長ノ定メタル規定ヲ

變更スルコトヲ得ス

第三百三十九條 副長ハ常ニ乗員ノ服務ヲ監督シ各員ヲシテ其ノ

職務ニ努力セシメ時時其ノ狀況ヲ艦長ニ報告スヘシ

第四百十條 副長ハ教育訓練ノ賦課調節ニ任シ其ノ施行ヲ監督

シテ全般ノ普及進歩ヲ圖リ戰鬪力ノ充實練習ニ努ムヘシ

第四百十一條 副長ハ艦内諸作業ヲ監督シ要スレハ自ら直接其

ノ指揮ニ任シ又艦長ノ命アルトキハ總員ノ配置ヲ要スル作業

ノ號令ヲ掌ルヘシ

第四百十二條 副長ハ分隊長、當直將校、機關科當直將校、衛兵

司令、甲板士官等ヲ指揮シテ艦内警察ノコトヲ管掌シ艦内ノ

紀律ヲ確實ニ維持スルコトヲ努ムヘシ

第四百十三條 副長ハ常ニ火氣ノ取締、防火防水排水ノ準備、彈

火藥庫ノ鎖鑰、危險物ノ取扱貯藏、重量物ノ搬移、移動物ノ固

縛、高所舷外ノ作業、天候海上ノ模様等ニ注意シ保安上必要ナ

ル事前ノ處置ヲ講シ萬一ノ失態ナカラムコトヲ期スヘシ

第四百十四條 副長ハ毎日一回及必要ト認ムルトキハ其ノ都度

彈火藥庫及之ニ準スル諸庫竝石炭庫重油「タンク」ノ最高溫度

ヲ取繕メ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第四百十五條 副長ハ許可ナクシテ艦内ニ安全隣寸ノ外他種類

ノ點火具又ハ裸火ヲ使用セシムヘカラス若之カ使用ヲ許可シタルトキハ當事者ヲシテ嚴重ナル警戒ヲ爲サシムヘシ

第四百十六條 副長ハ毒物、劇物、揮發油、酒精等ノ貯藏出入及

取扱ヲ嚴重ニ取締ルヘシ

第四百十七條 副長ハ其ノ艦他艦船ト衝突セムトシ又ハ陸地、

淺灘、岩礁ニ接スル等其ノ他緊急ノ場合ニ際シ艦長艦橋ニ在

ラサルトキハ之ニ代リ艦ノ操縦其ノ他ニ關シ臨機ノ處置ヲ施

スコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ速ニ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第四百十八條 副長ハ屢艦内ヲ巡檢シテ其ノ現狀ニ精通シ各部

ヲ整頓シ且清潔ナラシメ艦ノ威容ヲ保持スヘシ

第四百十九條 副長ハ各主管者及分擔者ヲ督勵シテ艦内各部ノ

保存整備ニ遺漏溢滯ナカラシメ且全般ノ修理手入作業ヲ統一

スヘシ

第四百十條 副長ハ必要ト認ムルトキハ短艇、甲板要具、食卓器

具、烹炊器具、釣床、被服又ハ手箱等ノ點檢ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ

艦長ニ報告スヘシ

第四百十一條 副長ハ艦内ニ於ケル消耗品等ノ使用ヲ監視シテ

之カ節約ヲ努メシムヘシ

第二百五十二條 副長ハ各分隊ニ於ケル賞罰ノ施行ヲ監視シテ其ノ均衡ヲ圖リ且其ノ公平適切ニ行ハルルヤ否ヤニ注意スヘシ

第二百五十三條 副長ハ乘員ノ才幹、性行、技能、健否等ヲ察知シ其ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二百五十四條 副長ハ艦長ノ命ヲ承ケ兵員ヲ各科ニ配付シ内務長、航海長、砲術長、水雷長、機雷長、通信長、飛行長、機

關長、軍醫長又ハ主計長ノ立案ニ基キ其ノ配置ヲ定ムヘシ

第二百五十五條 副長ハ配置通達簿ヲ備ヘ兵員新乘艦者ノ配置ヲ定メタルトキ及配置變更ヲ行ヒタルトキハ之ニ記載シテ艦長ニ報告スルト共ニ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百五十六條 副長ハ兵員諸役員及衛兵ヲ命免スヘシ但シ機關科ノミニ屬スルモノハ之ヲ機關長ニ委任スルヲ例トス

第二百五十七條 副長ハ乘員ニ體育ヲ獎勵シテ其ノ元氣ヲ振作シ

體力ヲ養成セシムルコトヲ努ムヘシ

第二百五十八條 副長ハ常ニ艦内ノ衛生ニ注意シ軍醫長ノ申請ニ

應シテ適當ナル保健手段ヲ講スヘシ

第二百五十九條 副長ハ糧食ノ調理配合ニ注意シ毎食之ヲ點檢シ且時時必要ナル職員ヲ從ヘ配食ノ實況ヲ検査スヘシ

第六十條 副長ハ飲料水及雜用水ノ使用規程ヲ定メ之カ節約ニ努メシムヘシ

第六十一條 副長ハ航泊ヲ問ハス必要ノ短艇ハ直ニ之ヲ揚卸シ又ハ差遣シ得ル如ク常ニ整頓準備セシムルコトニ注意スヘシ

第六十二條 副長ハ其ノ艦ノ出航前乘員ハ悉ク在艦スルヤ又外來者ノ乘艦シ居ラサルヤヲ調査シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第六十三條 副長ハ當直將校又ハ機關科當直將校ノ所掌事項ヲ自ラ行ハントスルトキハ之ヲ當直將校又ハ機關科當直將校ニ通告シタル後施行スヘシ但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 副長ハ必要ニ應シ短時間當直將校ニ代リテ其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十五條 副長ハ艦長ノ命ヲ承ケ部署、内規及當直規程ヲ立案シ又常ニ其ノ適否ヲ考查シテ改正ノ必要ヲ認ムルトキハ

案ヲ具シテ艦長ニ提出スヘシ戰則、操式、教範其ノ他諸法規令達ニ付意見ヲ有スルトキハ亦同シ但シ部署、内規及當直規程中内務科ニ關スル部ハ内務長、機關科ニ關スル部ハ機關長ヲシテ立案セシムルヲ例トス

第百六十六條 副長ハ艦長ノ特許アルカ又ハ已ムヲ得サル場合ニ非サレハ艦長ト同時ニ其ノ艦ヲ離ルヘカラス

第百六十七條 副長ハ乗員ヨリ出セル諸上申報告請願届出等ハ速ニ之ヲ處理シ要スルトキハ之ニ意見ヲ附シテ艦長ニ提出スヘシ

第百六十八條 副長ハ戰鬪後乗員ニ關スル事項及船體、兵器、機關等ノ缺損消耗報告ヲ取纏メ之ヲ艦長ニ提出シ且敏速ニ艦内ヲ整頓シ人員物件ヲ補填充實シテ爾後ノ戰鬪ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第百六十九條 副長ハ艦船配員簿ヲ保管整理スヘシ

第百七十條 副長ハ副長通達簿ヲ備ヘ艦長ノ旨ヲ承ケテ作業豫定、艦内ニ於ケル臨時必要ナル規定又ハ事項等ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第百七十一條 副長其ノ職ヲ退クトキハ艦ノ内外諸部乗員作業

其ノ他諸般ノ狀況、從來艦長及自己ノ執リ來レル方針規定其ノ他必要ノ事項ヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第百七十二條 副長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第三章ノ二 内務長

第百七十二條ノ二 内務長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第百七十二條ノ三 内務長ハ内務科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達鍊磨ニ努メ又運用、應急、電機、補機、注排水、工作及潛水ニ關スル一般ノ教育ヲ按劃指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第百七十二條ノ四 内務長ハ其ノ主管ノ船體、艦船艦裝品、機關、機關附屬物及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、効力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシムルト共ニ艦内一般ノ構造ニ通曉シ特ニ運用、應急、電機、補機、工作、注排水及潛水竝ニ所掌ノ諸裝置、器具、索具等ノ

活用ニ關シ充分ナル研究鍊磨ヲ積ミ事ニ當リテ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第七十二條ノ五 内務長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先立テ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第七十二條ノ六 内務長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査、修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條ノ七 内務長ハ其ノ主管物件中乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキ内務科員ノミヲ以テ施行シ得ル場合ニ於テハ速ニ之ヲ處理シ他ノ人員ヲ要スルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ但シ艦ノ行動航海ニ支障アル修理、検査、調整等ヲ施行セントスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第七十二條ノ八 内務長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第七十二條ノ九 内務長ハ戰鬪後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戰鬪ニ應スル準備ヲ爲スヘシ

第七十二條ノ十 内務長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハントスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クヘシ

第七十二條ノ十一 内務長ハ常ニ艦ノ釣合ニ注意シ他ノ主管ニ於テ艦ノ釣合ニ影響アル物件ノ移動積換ヲ行フトキ之カ協議ニ應シ要スレハ機關長ニ協議ノ上重油、眞水等ノ移動ヲ行ヒ艦ノ釣合ヲ保持スル如ク按畫實施シ釣合ニ大ナル變化アルトキハ艦長ニ報告スヘシ

第七十二條ノ十二 内務長ハ出港又ハ入渠前、入港又ハ出渠後及艦ノ釣合吃水ニ影響アル物件ノ移動積換ヲ行ヒタルトキハ艦ノ吃水ヲ測リ之ヲ航海長及機關長ニ通報スヘシ

第七十二條ノ十三 内務長ハ内務科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ

服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ
下士官以下ノ進退ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第百三條ノ五 内務長ハ副長ノ指示ニ依リ内務科ニ充當スヘキ

下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第百三條ノ五 内務長ハ副長ノ委任ニ依リ内務科（運用部ヲ除

ク）ノミニ關スル日課及課業ヲ處理シ之カ實施ヲ指導監督ス
ヘシ

第百三條ノ六 内務長ハ艦長又ハ副長ノ命アルトキハ平常運用

諸作業ノ指揮ヲ掌ルヘシ

第百三條ノ七 内務長ハ各分擔者ト協力シ時々錨、錨鎖、揚錨揚

艇裝置、動靜索等大ナル重量ヲ負荷スヘキ物件及防水扉蓋、

堰戸弁、通風弁、二重底空氣弁、防火防水防毒注排水裝置等

應急作業ニ關係アル主管物件ノ検査ヲ行ヒ其ノ成績ヲ艦長ニ

報告シ且之ヲ運用術要誌ニ記載スヘシ

第百三條ノ八 内務長ハ艦ノ動搖、傾斜又ハ波浪ノ衝激甚シキ

トキハ錨、錨鎖、短艇其ノ他重要ナル主管移動物及舛外諸物

件ノ固縛ニ關シ充分ナル注意ヲ拂フヘシ

第百三條ノ九 内務長ハ工作簿ヲ備ヘ艦内ニ於テ金屬又ハ木具

工業ヲ要スルモノアルトキハ之ニ記載シテ請求セシメ工作ノ
能否、事業ノ緩急、材料ノ有無等ヲ考查シテ之ヲ施行スヘキ
ヤ否ヤヲ決定シ施行ノ場合ニ於テハ其ノ作業ヲ監督スヘシ

第百三條ノ十 内務長ハ常ニ潛水用具ヲ完備ノ状態ニ在ラシム
ルニ努メ急速ノ需用ニ應セシムヘシ

第百三條ノ十一 内務長ハ潛水作業ヲ行フニ際シテハ其ノ作業ノ

難易ニ應シ適當ナル潛水者ヲ選定シ作業中ハ其ノ實施ヲ監督
シ人命ノ保全、危險ノ防止等ニ充分注意スヘシ

第百三條ノ十二 内務長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他

諸法規、令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切

ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案

ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第百三條ノ十三 内務長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調整ニ

任スヘシ

第百三條ノ十四 内務長ハ運用術要誌、艦船機關來歷簿（内務長

主管）其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、記録類ヲ保管整

理スヘシ

第百三條ノ十五 内務長ハ必要ニ應シ内務長通達簿ヲ備ヘ艦長命

令ノ傳達、自己ノ傳達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第三百三條 三 內務長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第三百三條 三 內務長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第四章 航海長

第三百十三條 航海長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ヲ輔佐スヘシ

第三百十四條 航海長ハ艦長ノ命ヲ承ケテ水路嚮導ノコトヲ掌リ其ノ艦ノ航海操縦上ノ性能ヲ熟知シ之カ計畫及實施ニ當リテハ常ニ細密ナル考慮ト周到ナル注意トヲ拂ヒ萬遺算ナキコトヲ期スヘシ

第三百十五條 航海長ハ航海ニ先チ艦長ノ指示ニ基キ豫定航路ヲ立案シテ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第三百十六條 航海長ハ其ノ艦航海中航行豫定ノ變更ヲ必要ト

認ムルトキハ意見ヲ艦長ニ具申シ又豫定ニ依ル針路變換若ハ速度増減ノ時機ニ達スルトキハ豫メ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ危險ナル場合ニ切迫シ報告ノ迫ナキトキハ之ヲ避クル爲必要ナル針路ノ變換若ハ速度ノ増減ヲ當直將校ニ指示シ又ハ自ラ所要ノ手段ヲ執ルコトヲ得

第三百十七條 航海長ハ航海中常ニ其ノ艦ノ位置ヲ熟知シ每日午前六時、正午及午後六時ノ位置ヲ艦長ニ報告スヘシ

第三百十八條 航海長ハ出入港、狹水道通過、陣形運動其ノ他航行操縦上特ニ注意ヲ要スルトキ及屢針路變換速度増減ヲ要スル海面ヲ航行スル場合ニ於テハ常ニ艦橋ヲ離ルルコトナク又艦長ノ命アルトキハ自ラ艦ノ操縦ヲ掌ルヘシ、

前項ノ場合ノ外航海長ハ艦長ノ定ムル所ニ依リ必要ニ應シ當直將校ニ代リテ艦ノ操縦ニ任シ又ハ之ヲ當直將校ニ引繼クコトヲ得但シ之カ授受ニ當リテハ區分ヲ明確ナラシムヘシ

第三百十九條 航海長ハ艦長ノ命ニ依リ針路ノ變換又ハ速度ノ増減ヲ行フトキハ之ヲ當直將校ニ通告シタル後施行スヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三百十條 航海長ハ當直將校艦ノ操縦ニ任スル場合ニハ航海

操縦ニ關スル必要ナル事項ヲ指示スヘシ

第八十一條 航海長ハ水先人ヲ備役スルトキハ嚴重ニ之ヲ監視シ若其ノ執ル所ノ針路ノ危險ナルヲ知リ又ハ其ノ技倆ノ拙劣ナルコトヲ認ムルトキハ直ニ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第八十二條 航海長ハ其ノ艦投錨シタルトキハ其ノ艦位ヲ精測シテ之ヲ艦長ニ報告シ航泊日誌ニ記註スヘシ

第八十三條 航海長ハ海軍信號規程、艦隊運動程式其ノ他信號ニ關スル諸規程ヲ熟知シテ諸信號ノ迅速確實ニ通達スルコトヲ期スヘシ

第八十四條 航海長ハ氣象ニ關スル研究ヲ重ネ常ニ氣象變化ノ推移ニ注意シ之カ豫知ニ努ムヘシ

第八十五條 航海長ハ見張ニ關スル研究ヲ重ネ常ニ艦外ニ達スル監視見張ヲシテ遺憾ナカラシムルコトヲ努ムヘシ

第八十六條 航海長ハ航海科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監督シ之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又航海、操縦、信號氣象、見張及操舵裝置ニ關スル一般ノ教育ヲ按畫指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第八十七條 航海長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

關附屬物及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整理保在シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシテ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第八十八條 航海長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、檢査又ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル檢査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條 航海長ハ其ノ主管ノ物件中乘員ノ手ニテ施行シ得ル檢査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ之カ施行ヲ分擔者ニ指示シ若ハ他ノ

主任者ニ之ヲ委託スヘシ但シ艦ノ行動航海ニ支障アル修理検査、調整等ヲ施行セントスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十條 航海長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ノ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第九十一條 航海長ハ戰鬪後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戰鬪ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第九十二條 航海長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クヘシ

第九十三條 航海長ハ航海科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第九十四條 航海長ハ副長ノ指示ニ依リ航海科ニ充當スヘキ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第九十五條 航海長ハ主管兵器ノ器差ヲ検査測定シ爲シ得ル

限之カ修正ヲ行ヒ且水路圖誌類ハ遺漏滯滞ナク之ヲ改補スヘシ

第九十六條 航海長ハ舵取裝置動力ノ轉換使用ニ關シ其ノ方法ヲ研究知悉シ置クヘシ

第九十七條 航海長ハ常ニ艦内ノ時辰ヲ整合スヘシ

第九十八條 削除

第九十九條 航海長ハ戰則、部署、內規、操式、教範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シテ艦長ニ提出スヘシ

第一百條 航海長ハ其ノ艦ノ運動要表ヲ調製スヘシ

第一百一條 航海長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第一百二條 航海長ハ艦艇記錄、羅鍼儀經歷誌、轉輪羅針儀經歷簿、艦船機關來歷簿(航海長主管)、經線儀日誌、航泊日誌、信號誌、當直記錄其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿記錄類ヲ保管整理スヘシ

第一百三條 航海長ハ必要ニ應シ航海長通達簿ヲ備ヘ艦長命令

ノ傳達、自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百四條 航海長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項

其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二百五條 航海長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテ

ハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第五章 砲術長

第二百六條 砲術長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ノ

職務ヲ補助スヘシ

第二百七條 砲術長ハ砲術科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ之カ

方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又砲術、水壓裝置及電氣裝置ニ關スル一般ノ教育ヲ按畫指導シテ之カ進步齊一ヲ圖ルヘシ

第二百八條 砲術長ハ其ノ主管ノ船體、艦船艦裝品及兵備品ノ

構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充分ナ

ル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百九條 砲術長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ發

見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第二百十條 砲術長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、檢査又ハ定

額ノ變更豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル檢査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百十一條 砲術長ハ其ノ主管ノ物件中乘員ノ手ニテ施行シ

得ル檢査、修理、整頓、入手等ヲ要スルモノアルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ之カ施行ヲ分擔者ニ指示シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第二百十二條 砲術長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、檢査等ヲ施

行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ

領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第二百十三條 砲術長ハ戰鬪後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長

ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戰鬪ニ應スルノ準備
ヲ爲スヘシ

第二百十四條 砲術長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動

積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣合
ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第二百十五條 砲術長ハ砲術科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ

狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ下士官以
下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二百十六條 砲術長ハ副長ノ指示ニ依リ砲術科ニ充當スヘキ

下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同
シ

第二百十七條 砲術長ハ砲銃、彈藥、火工品等ノ取扱使用ニ關

シ特ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ萬一ノ變災ナカラムコトヲ努ムヘ
シ

第二百十八條 砲術長ハ其ノ主管彈藥庫ノ狀態ニ注意シ其ノ

溫度ヲ規定ニ保チ通風ヲ適當ニ行ヒ又毎日其ノ溫度及濕度ヲ

査閲シ掌砲長ヲシテ其ノ最高溫度及濕度ヲ副長ニ報告セシム
ヘシ

第二百十九條 砲術長ハ内務長以外ノ各主管者ノ委託ニ依リ電

路長及電路員ヲシテ各主管者ノ指示ニ從ヒ電氣通信裝置其ノ
他艦内諸電氣裝置ノ修補ニ從事セシムヘシ

第二百二十條 砲術長ハ時々避雷針ノ抵抗ヲ測定シ爲シ得ル限之

カ修正ヲ行フヘシ
第二百十九條 砲術長ハ主管兵器ノ器差ヲ檢査測定シ爲シ得ル
限之カ修正ヲ行フヘシ

第二百二十條 砲術長ハ艦ノ動搖傾斜甚シキトキハ砲煩、彈藥、

探照燈等ノ繫止及砲門ノ閉鎖ニ關シ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第二百二十一條 砲術長ハ信號用、禮砲用等ノ空放裝藥ヲ準備

シ急遽ノ需用ニ應セシムヘシ

第二百二十二條 砲術長ハ戰則、部署、內規、操式、教範其ノ他諸

法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行
ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具
シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第二百二十三條 砲術長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製

ニ任スヘシ

第二百二十四條 砲術長ハ砲術要誌、砲歴、測距儀經歷簿、艦船

機關來歷簿(砲術長主管)其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、
記錄類ヲ保管整理スヘシ

第二百二十五條 砲術長ハ必要ニ應シ砲術長通達簿ヲ備ヘ艦長

命令ノ傳達ト自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關
係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百二十六條 砲術長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル

事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物
件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二百二十七條 砲術長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在

リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第六章 水雷長

第二百二十八條 水雷長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦

長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第二百二十九條 水雷長ハ水雷科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ

之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ

又水雷及空氣壓縮裝置ニ關スル一般ノ教育ヲ按畫指導シテ之

カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第二百三十條 水雷長ハ其ノ主管ノ船體、艦船艤裝品及兵備品

ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ
督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖

リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充
分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコト

ヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍內
ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百三十一條 水雷長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコト

ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノ
ハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概

要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手
段ヲ執ルコトヲ得

第二百三十二條 水雷長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スル理由アルトキハ理由ヲ
具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル検査

修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百三十三條 水雷長ハ其ノ主管ノ物件中乘員ノ手ニテ施行

シ得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ之カ施行ヲ分擔者ニ指示シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第二百三十四條 水雷長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第二百三十五條 水雷長ハ戰鬪後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戰鬪ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第二百三十六條 水雷長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ承ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第二百三十七條 水雷長ハ水雷科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健全等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二百三十八條 水雷長ハ副長ノ指示ニ依リ水雷科ニ充當スヘキ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同

シ

第二百三十九條 水雷長ハ發射機、魚雷、裝藥、火工品等ノ取扱使用ニ關シ特ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ萬一ノ變災ナカラムコトヲ努ムヘシ

第二百四十條 水雷長ハ其ノ主管火藥庫ノ狀態ニ注意シ其ノ溫度ヲ規定ニ保テ通風ヲ適當ニ行ヒ又毎日其ノ溫度及濕度ヲ査閱シ掌水雷長ヲシテ最高溫度及濕度ヲ副長ニ報告セシムヘシ

第二百四十一條 水雷長ハ主管兵器ノ器室ヲ検査測定シ爲シ得ル限之カ修正ヲ行フヘシ

第二百四十二條 水雷長ハ艦ノ動搖甚シキトキハ發射機、魚雷等ノ繫止及前扉ノ閉鎖ニ關シ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第二百四十三條 水雷長ハ戰則、部署、內規、操式、教範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第二百四十四條 水雷長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第二百四十五條 水雷長ハ水雷術要誌、魚形水雷經歷簿、艦船機關來歷簿(水雷長主管)其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、記

錄類ヲ保管整理スヘシ

第二百四十六條 水雷長ハ必要ニ應シ水雷長通達簿ヲ備ヘ艦長

命令ノ傳達、自己令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百四十七條 水雷長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル

事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二百四十八條 水雷長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在

リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第二百四十九條 ノニ 潜水艦ノ水雷長ハ潜水艦長ノ命ヲ承ケ關係主管

者ノ潛航諸裝置ノ整備ニ協力シ其ノ機能發揮ニ遺憾ナカラシムルト共ニ潛航ニ關スル部署訓練ヲ分掌シ其ノ熟達練磨ニ努ムヘシ

第六章ノ二 機雷長

第二百五十條 ノニ 機雷長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長

ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第二百五十一條 ノ四 機雷長ハ機雷科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ之

カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又機雷ニ關スル一般ノ教育ヲ按畫指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ル

ヘシ

第二百五十二條 ノニ 機雷長ハ其ノ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備品

ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百五十三條 ノ六 機雷長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ

發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第二百五十四條 ノ七 機雷長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スル理由アルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル検査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百五十五條 ノ八 機雷長ハ其ノ主管ノ物件中乘員ノ手ニテ施行シ

得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ之カ施行ヲ分擔者ニ指示シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第二四六條ノ九 機雷長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第二四六條ノ十 機雷長ハ戦闘後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限り之ヲ補修シテ爾後ノ戦闘ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第二四六條ノ十一 機雷長ハ其ノ主管物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第二四六條ノ十二 機雷長ハ機雷科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二四六條ノ十三 機雷長ハ副長ノ指示ニヨリ機雷科ニ充當スヘキ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同

シ

第二四六條ノ十四 機雷長ハ機雷、爆雷、火工品等ノ取扱使用ニ關シ特ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ萬一ノ變災ナカラムコトヲ努ムヘシ

第二四六條ノ十五 機雷長ハ其ノ主管火藥庫及機雷庫ノ状態ニ注意シ其ノ溫度ヲ規定ニ保チ通風ヲ適當ニ行ヒ又毎日其ノ溫度及濕度ヲ査閲シ掌機雷長ヲシテ最高溫度及濕度ヲ副長ニ報告セシムヘシ

第二四六條ノ十六 機雷長ハ主管兵器ノ器差ヲ検査測定シ爲シ得ル限之カ修正ヲ行フヘシ

第二四六條ノ十七 機雷長ハ艦ノ動搖甚シキトキハ機雷等ノ繫止及門扉ノ閉鎖ニ關シ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第二四六條ノ十八 機雷長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第二四六條ノ十九 機雷長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第二四六條 機雷長ハ機雷術要誌、其ノ他所掌事項ニ屬スル
圖書、帳簿、記錄類ヲ保管整理スヘシ

第二四七條 機雷長ハ必要ニ應シ機雷長通達簿ヲ備ヘ艦長
命令ノ傳達、自己令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係
者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二四八條 機雷長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル
事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物
件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二四九條 機雷長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在
リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第七章 通信長

第二四九條 通信長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦
長ノ職務ヲ補助スヘシ

第二百五十條 通信長ハ無線電信電話ノ通信ニ關スルコトヲ掌
リ其ノ學理、應用及之ニ關スル諸規定ヲ熟知シ無線諸通信ヲ
迅速確實ニ處理スルコトヲ努ムヘシ

第二百五十一條 通信長ハ通信科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ
之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ

又電信ニ關スル一般ノ教育ヲ按劃指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖
ルヘシ

前項ノ外航空機ヲ搭載スル艦ノ通信長ハ飛行科員ノ無線通信
ニ關スル教育訓練ニ付テハ飛行長ト協議ノ上之カ按畫指導ヲ
分掌スヘシ

第二百五十二條 通信長ハ其ノ主管ノ船體、艦船艤裝品及兵備
品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ
督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之カ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖
リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充
分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコト
ヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内
ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百五十三條 通信長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコト
ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノ
ハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概
要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手
段ヲ執ルコトヲ得

第二百五十四條 通信長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、檢査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百五十五條 通信長ハ其ノ主管ノ物件中乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキハ所要ノ人員ヲ副長ニ請求シ又ハ之カ施行ヲ分擔者ニ指示シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ但シ無線電信ノ發受信ニ支障アル検査、修理、調整等ヲ施行セムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第二百五十六條 通信長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第二百五十七條 通信長ハ戰鬪後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戰鬪ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第二百五十八條 通信長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣

合ニ大ナル影響ヲ及ホス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第二百五十九條 通信長ハ通信科員ヲ誘導監督シ其ノ常ニ服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二百六十條 通信長ハ副長ノ指示ニ依リ通信科ニ充當スヘキ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第二百六十一條 通信長ハ常ニ空中電波ノ現狀ヲ知悉スヘシ

第二百六十二條 通信長ハ主管兵器ノ器差ヲ検査測定シ爲シ得ル限之カ修正ヲ行フヘシ

第二百六十三條 削除

第二百六十四條 通信長ハ風力強烈ナルトキハ空中線ノ維持及保護ニ關シ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第二百六十五條 通信長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第二百六十六條 通信長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第二百六十七條 通信長ハ通信術要誌其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、記錄類ヲ保管整理スヘシ

第二百六十八條 通信長ハ必要ニ應シ通信長通達簿ヲ備ヘ艦長命令ノ傳達、自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百六十九條 通信長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二百七十條 通信長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第八章 飛行長

第二百七十一條 飛行長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第二百七十二條 飛行長ハ飛行科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又飛行及整備術ニ關スル一般ノ教育ヲ按畫指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第二百七十三條 飛行長ハ其ノ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備

品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ兵器等ノ活用ニ關シ充分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百七十四條 飛行長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第二百七十五條 飛行長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二百七十六條 飛行長ハ其ノ主管ノ物件中乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査、修理、整頓、入手等ヲ要スルモノアルトキハ飛行科員ノミテ以テ施行シ得ル場合ニハ速ニ之ヲ處理シ他ノ人員

ヲ要スルトキハ所要人員ヲ副長ニ請求シ又ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第二百七十七條 飛行長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第二百七十八條 飛行長ハ戦闘後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戦闘ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第二百七十九條 飛行長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ホス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第二百八十條 飛行長ハ飛行科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第二百八十一條 飛行長ハ副長ノ指示ニ依リ飛行科ニ充當スヘキ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第二百八十二條 飛行長ハ航空機、同用諸兵器、瓦斯、揮發油、火工品等ノ取扱使用ニ關シ特ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ萬一ノ變

災ナカラムコトヲ努ムヘシ

第二百八十三條 飛行長ハ常ニ保管航空機ヲ完備ノ状態ニ在ラシムルニ努メ急速ノ需用ニ應セシムヘシ

第二百八十四條 飛行長ハ航空機使用中ハ關係主務者ト協力シテ見張ヲ嚴ニシ航空機トノ通信連絡ヲ保持スルニ努ムルト共ニ豫メ應急救護ノ處置ニ遺算ナキヲ期スヘシ

第二百八十五條 飛行長ハ主管兵器ノ器差ヲ検査測定シ爲シ得ル限之カ修正ヲ行フヘシ

第二百八十六條 飛行長ハ艦ノ動搖甚シキトキ又ハ風力強烈ナルトキハ保管航空機其ノ他主管物件ノ保護、繫止、固縛等ニ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第二百八十七條 飛行長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第二百八十八條 飛行長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第二百八十九條 飛行長ハ機體來歷簿、航空機用發動機來歷簿

其ノ他ノ所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、記録類ヲ保管整理スヘシ

第二百九十條 飛行長ハ必要ニ應シ飛行長通達簿ヲ備ヘ艦長命令ノ傳達ト自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第二百九十一條 飛行長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第二百九十一條ノ二 飛行長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第九章 機關長

第二百九十二條 機關長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第二百九十三條 機關長ハ艦長ノ命ヲ承ケテ機關ノ運轉ニ關スルコトヲ指揮命令シ機關ノ運轉中ハ絶エス其ノ狀況ニ注意シテ故障危險等ノ起ラサルコトニ努メ且燃料等ノ節約ヲ圖ルヘシ

第二百九十四條 機關長ハ機關用法ヲ制定シ艦長ノ承認ヲ受ケ

之ヲ實施スヘシ

第二百九十五條 機關長ハ主機械ヲ試運轉、出入港、狹水道通過、陣形運動其ノ他機關ノ運轉上特ニ注意ヲ要スル場合ニハ機關室ニ在リテ機關科全般ヲ監督スヘシ

第二百九十六條 機關長ハ機關科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又機關ニ關スル一般ノ教育ヲ按劃指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第二百九十七條 機關長ハ其ノ主管ノ船體、艦船艙裝品、機關、機關附屬物及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ特ニ機關等ノ活用ニ關シ充分ナル研究練磨ヲ積ミ事ニ當リ其ノ全能ヲ發揮セシムルコトヲ期シ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第二百九十八條 機關長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコトヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概

要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先テ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第二百九十九條 機關長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乗員ノ手ニテ施行シ得ル検査、修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三百條 機關長ハ其ノ主管ノ物件中乗員ノ手ニテ施行シ得ル

検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキ其ノ機關科員ノミヲ以テ施行シ得ル場合ニハ速ニ之ヲ處理シ他ノ人員ヲ要スル場合ニハ之ヲ副長ニ請求シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ但シ艦ノ行動航海ニ支障アル修理検査、調整等ヲ施行セムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第三百一條 機關長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施行

スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第三百二條 機關長ハ高力運轉ヲ施行スルトキハ其ノ前後ニ於

テ特ニ注意シテ機關各部ノ検査ヲ行フヘシ

第三百三條 機關長ハ戦闘後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ

報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戦闘ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第三百四條 機關長ハ其ノ主管物件中重要ナルモノノ移動積換

ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ承ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第三百五條 機關長ハ機關發生力量ノ制限又ハ鑊使用壓力ノ増

減ヲ要スト認メタルトキハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第三百六條 機關長ハ機關科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務ノ狀

況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第三百七條 機關長ハ副長ノ指示ニ依リ機關科ニ充當スヘキ下

士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第三百八條 機關長ハ機關科員ノ諸役員ヲ命免シ之ヲ副長ニ報

告スヘシ

第三百九條 機關長ハ副長ノ委任ニ依リ機關科ノミニ屬スル日

課及課業ヲ處理シ之カ實施ヲ指導監督スヘシ

第三百十條 機關長ハ屢自己ノ管轄ニ屬スル艦内諸部ヲ巡檢シ

其ノ現狀ニ精通シ定則命令ノ實施ヲ監督シ各部ヲ整頓シ且清

潔ナラシムヘシ

第三百十一條 機關科當直將校ノ所掌ニ屬スル事項ヲ

自ラ行ハムトスルトキハ之ヲ機關科當直將校ニ通告シタル後
施行スヘシ但シ緊急ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三百十二條 機關長ハ必要ニ應シ短時間機關科當直將校ニ代

リテ其ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十三條 機關長ハ碇泊中晝夜ニ拘ラス所掌ノ機關室其ノ

他必要ナル個所ニ當直ヲ置キ室内ノ整頓及火氣ニ對スル警戒

ニ從事セシムヘシ

第三百十四條 機關長ハ高度ノ溫熱ニ觸レ易キ場所ニハ特ニ危

險ヲ避クヘキ豫防法ヲ施スヘシ

第三百十五條 機關長ハ軍醫長ト協力シテ熱射病患者ノ發生ヲ

豫防スル手段ヲ講スヘシ

第三百十六條 削除

第三百十七條 機關長ハ毎日正午ニ於ケル燃料及罐用水ノ現量

ヲ艦長ニ報告スヘシ

第三百十七條 機關長ハ飲料水及雜用水ノ貯藏竝ニ配給ヲ管理

スヘシ

第三百十八條 機關長ハ毎日石炭庫及重油「タンク」ノ溫度ヲ查

閲シ機關科當直將校ヲシテ機關室汚水深度ト共ニ其ノ最高溫
度ヲ副長ニ報告セシムヘシ

第三百十九條 機關長ハ油類ノ放出ニ依ル海水ノ汚濁防止ニ關

シ充分ノ注意ヲ拂フヘシ

第三百二十條 機關長ハ機關ノ操縱ニ關スル重要ナル諸表、諸

管裝置及其ノ著色法等ヲ示シタル圖面ヲ調製シ便宜ノ位置ニ
一揭示スヘシ

第三百二十一條 機關長ハ副長ノ委任ニ依リ機關科ニ關スル部

署、内規及當直規程ヲ立案スヘシ

第三百二十二條 機關長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他諸

法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行
ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具
シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第三百二十三條 機關長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製

ニ任スヘシ

第三百二十四條 機關長ハ艦船機關來歷簿（機關長主管）、機關

日誌其ノ他所掌事項ニ屬スル圖書、帳簿、記錄類ヲ保管整理
スヘシ

第三百二十五條 機關長ハ必要ニ應ジ機關長通達簿ヲ備ヘ艦長

命令ノ傳達、自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關
係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第三百二十六條 機關長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル

事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物
件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第三百二十七條 機關長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外豫備艦ニ在
リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第十章 軍醫長

第三百二十八條 軍醫長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦

長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第三百二十九條 軍醫長ハ艦内各部ニ於ケル空氣ノ流通、容積、

乾濕、溫度及倉庫、艙底、烹炊室、厠等ノ狀況並乗員ノ被服、寢
具、食器、糧食、飲料水等ノ適否其ノ他艦内一般ノ衛生ニ注意

シ之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ之ヲ當該主務者主管者ニ通知
シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ

第三百三十條 軍醫長ハ其ノ艦氣候風土ノ異ル地方ニ回航スル

トキハ豫メ乗員ノ糧食、被服、寢具等ノ準備ニ注意シ意見アル

トキハ之ヲ艦長ニ具申スヘシ

第三百三十一條 軍醫長ハ飲料水ヲ搭載スルトキハ之ヲ検査シ

テ其ノ適否ヲ定メ又常ニ其ノ容器ノ清潔ナルヤ否ヤニ注意ス
ヘシ

第三百三十二條 軍醫長ハ糧食ヲ受込ミ又ハ購買スルトキハ其

ノ品種及品質ヲ検査スヘシ

第三百三十三條 軍醫長ハ糧食ノ調理及配合ニ注意シ每食之ヲ

點檢シ且時時配食ノ實況ヲ検査スヘシ

第三百三十四條 軍醫長ハ其ノ艦傳染病又ハ地方病アル地ニ寄

港スルトキハ乗員ノ健康ヲ保持スルニ必要ナル方法ヲ講シ乘
員上陸ノ必要アルトキハ特ニ細密ナル注意ヲ爲スヘシ

第三百三十五條 軍醫長ハ氣溫ノ下降又ハ過劇ノ勞働等ニ因リ

衛生上下士官以下乗員ニ火酒ノ給與ヲ必要ト認ムルトキハ之
ヲ副長ニ申告スヘシ

第三百三十六條 軍醫長ハ毎日定時ニ患者ヲ診療シ病症ノ輕重

ニ應シ就業又ハ休養ノ程度ヲ定メ診察簿ニ記載シテ副長ニ提
出シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百三十七條 軍醫長ハ乗員ニシテ入院治療ヲ要スル者及之

カ爲海兵團ニ送籍ヲ適當ト認ムル者アルトキハ之ヲ艦長ニ報告シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百三十八條 軍醫長ハ艦内ニ於テ患者危篤又ハ重態ニ陥ルトキハ速ニ之ヲ艦長ニ報告シ且關係分隊長ニ通告スヘシ

第三百三十九條 軍醫長ハ死狀疑義ニ涉リ局所剖檢ヲ要スルモノアルトキハ艦長ニ具申シ其ノ許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ但シ刑事ニ關係ノ嫌疑アルトキハ海軍軍法會議檢察官ノ立會ヲ要ス

第三百四十條 軍醫長ハ病院等ニ送リタル患者アルトキハ時時其ノ實況ヲ視察シ之ヲ艦長ニ報告シ關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百四十一條 軍醫長ハ下士官以下乗員中自己ノ不攝生ニ原因スル傷病ニ罹リタル者アルトキハ相當ノ期間ヲ定メ之カ上陸禁止ヲ副長ニ請求シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

前項ノ外衛生上陸禁止ヲ必要ト認ムルモノアルトキ亦同シ
第三百四十二條 軍醫長ハ艦内ニ傳染病發生シタルトキ又ハ疾病ノ傳染性ナルト否トヲ問ハス一時ニ多數ノ乗員ヲ襲ヒ流行ノ兆アルトキハ速ニ之ヲ艦長ニ報告シ其原因ヲ探究シテ隔離

消毒等之カ防遏ニ關シ必要ナル處置ヲ艦長ニ具申シ其ノ認許ヲ得テ之ヲ實施シ極力之カ終熄ヲ圖ルヘシ

第三百四十三條 削除
第三百四十四條 削除

第三百四十五條 軍醫長ハ其ノ艦遠洋航海ヲ行フ場合ニハ豫メ乗員ノ身體檢査ヲ行ヒ其ノ航海ニ堪ヘスト認ムル者アルトキハ之ヲ艦長ニ報告シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百四十六條 軍醫長ハ毎月一回及必要ト認ムルトキハ其ノ都度下士官以下乗員ノ健康狀態ヲ檢査シ又毎年三月、九月及必要ト認ムルトキハ隨時下士官以下乗員ノ體重ヲ秤量シ其ノ成績ヲ副長ニ報告シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百四十七條 軍醫長ハ下士官以下ノ新乗艦者アルトキハ其ノ身體ヲ檢査シ其ノ狀況ヲ副長ニ報告シ且關係分隊長ニ通知スヘシ

第三百四十八條 軍醫長ハ再現役ヲ志願スル者アルトキ其ノ他必要ニ應シ分隊長ヨリ下士官以下身體檢査ノ請求ヲ受クルトキハ之カ檢査ヲ行ヒテ其ノ成績ヲ通知シ要スレハ所見表等ニ之ヲ記載シテ證印スヘシ

第三百四十九條 軍醫長ハ醫務科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務

ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第三百五十條 軍醫長ハ軍醫科分隊長及乘組軍醫科士官ニ自己

ノ職務ノ一部ヲ分擔補助セシムヘシ

第三百五十一條 軍醫長ハ副長ノ指示ニ依リ軍醫科ニ充當スヘ

キ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同シ

第三百五十二條 軍醫長ハ副長ノ委任ニ依リ軍醫科ノミニ屬ス

ル日課及課業ヲ處理シ之カ實施ヲ指導監督スヘシ

第三百五十三條 軍醫長ハ軍醫科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ

之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ又醫務衛生ニ關スル一般ノ教育ヲ按劃指導シテ之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第三百五十四條 軍醫長ハ其ノ主管ノ船體、艦船機裝品及兵備

品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖

リ以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ又消耗品等ノ節約ニ注意シ

法規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘシ

第三百五十五條 軍醫長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコト

ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得

第三百五十六條 軍醫長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、検査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル検査修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三百五十七條 軍醫長ハ其ノ主管ノ物件中乘員ノ手ニテ施行

シ得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキ其ノ醫務科員ノミヲ以テ施行シ得ル場合ニハ速ニ之ヲ處理シ他ノ人員ヲ要スル場合ニハ之ヲ副長ニ請求シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第三百五十八條 軍醫長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ

施行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若

ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第三百五十九條 軍醫長ハ戦闘後速ニ死傷者ノ官職氏名、負傷者ノ經過等ヲ艦長ニ稟申シ又其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戦闘ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第三百六十條 軍醫長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ボス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第三百六十一條 軍醫長ハ戰則、部署、内規、操式、致範其ノ他諸法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第三百六十二條 軍醫長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製ニ任スヘシ

第三百六十三條 軍醫長ハ其ノ所掌事項ニ關スル圖書、帳簿、記錄類ヲ保管整理スヘシ

第三百六十四條 軍醫長ハ必要ニ應シ軍醫長通達簿ヲ備ヘ艦長

命令ノ傳達、自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第三百六十五條 軍醫長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第三百六十六條 軍醫長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外母艦ニ在リテハ軍醫長又ハ軍醫科士官ヲ置カサル關係艦船部隊ニ對シ軍醫長ノ職務ヲ行ヒ豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第十一章 主計長

第三百六十七條 主計長ハ其ノ擔任所掌ニ關係アル事項ニ付艦長ノ職務ヲ輔佐スヘシ

第三百六十八條 主計長ハ軍艦經費ノ出納官吏トシテ會計諸法規ヲ恪守シ艦長監督ノ下ニ金錢ノ保管出納、計算、報告等ヲ處理シ毫末モ誤謬違法ノ處置ナキヲ要ス

第三百六十九條 主計長ハ保管現金ノ守護ニ任シ金櫃ノ鍵ハ必ス自ラ之ヲ携帯保管シ又多額ノ現金ヲ艦内又ハ艦外ニ搬移セムトスルトキハ相當ノ保護ヲ副長ニ請求スヘシ

第三百九條ノニ 主計長ハ契約擔任官トシテ其ノ艦船ニ於テ賣

買、貸借、請負其ノ他ノ契約ヲ爲スニ當リテハ契約關係法規
ヲ恪守シ之カ履行ノ確實ヲ期シ毫末モ違漏ナキヲ要ス

第三百七十條 主計長ハ糧食品ヲ受込ミ又ハ購買スルトキハ軍

醫長ノ立會ヲ得テ現品ヲ點檢シ之カ良否及數量ヲ検査スヘシ
第三百七十一條 主計長ハ風土氣候ニ應シテ糧食ノ調理配合ヲ

適良ナラシムルコトニ注意シ每食之ヲ點檢シ且時時配食ノ實
況ヲ検査シ調理配食ノ改良進歩ヲ圖ルヘシ

第三百七十二條 主計長ハ酒保ノ金錢出納ヲ監視シ毎月計算書

類ヲ査閲シテ其ノ實況ヲ艦長ニ報告スヘシ
第三百七十三條 主計長ハ郵便切手受拂簿ヲ備ヘ其ノ收支及郵

便電信ノ發送ヲ記載スヘシ
第三百七十四條 主計長ハ兵員被服物品交付交換請求書ヲ前月

末日迄ニ取纏メ其ノ月二十日迄ニ之ヲ交付交換スルヲ例ト
ス

第三百七十五條 主計長ハ乘員ニ對スル俸給其ノ他金錢ノ給與

ハ副長ノ指定スル時間及場所ニ於テ其ノ渡シ方ヲ行フヘシ

第三百七十六條 主計長ハ艦長ノ命ニ依リ准士官以上ノ人事ニ

關スル事務ヲ掌リ又總員名簿ヲ整理スヘシ

第三百七十七條 主計長ハ公文書類ノ授受、保管及發送ニ任シ

左記諸號ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

一 發送書類ノ作製ハ各其ノ成規ニ從フコト

二 發送書類ニシテ後來ノ參考ト爲ルヘキモノ又ハ重大ナル
事項ト認ムルモノハ其ノ寫ヲ取ルコト

三 同一ノ場所ニ送付スヘキ書類ハ成ルヘク一纏ト爲スコト
四 差使送達ノ公文書ニハ總テ送達簿ヲ使用シ其ノ授受ヲ確

實ナラシムルコト

五 艦長宛親展書類ヲ接受シタルトキハ直ニ之ヲ艦長ニ致シ
其ノ指揮ヲ受ケ處分スルコト

六 艦長宛及艦宛普通書類ハ直ニ之ヲ開披シ艦長及副長ノ閱
覽ヲ受ケタル後關係者ニ回覽スルコト

七 處分又ハ閱覽濟ノ書類ハ種別毎ニ區分シテ編綴保管スル
コト

八 各科ニ專屬シ他ニ關係ナキ書類ハ之ヲ當該主任者ニ引渡

シ且其ノ所在ヲ明ナラシメ置クコト

第三百七十八條 主計長ハ艦長又ハ艦ノ名ヲ以テ發送スル文書

ニシテ他ノ主務ニ屬セサルモノノ立案淨書ニ任スヘシ

第三百七十九條 主計長ハ諸法規令達等ニ改廢アリタルトキハ

速ニ之ヲ訂正整理スヘシ

第三百八十條 主計長ハ郵便電信取扱局所ノ有無及郵便發着ノ

時日ヲ確ムル等通信ヲ迅速ナラシムル方法ヲ講シ又其ノ艦出

港ニ際シ郵便電信ノ送付地ヲ指定スルノ要アルトキハ艦長ノ

指示ヲ受ケ豫メ之ヲ必要ノ取扱局所及海軍省ニ通知スヘシ

第三百八十一條 主計長ハ主計科員ヲ誘導監督シ常ニ其ノ服務

ノ狀況ニ注意シ之カ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知シ下士官

以下ノ進退ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第三百八十二條 主計長ハ主計科分隊長及乗組主計科士官ニ自

己ノ職務ノ一部ヲ分擔補助セシムヘシ

第三百八十三條 主計長ハ副長ノ指示ニ依リ主計科ニ充當スヘ

キ下士官以下ノ配置ヲ立案スヘシ配置變更ヲ要スルトキ亦同

シ

第三百八十四條 主計長ハ副長ノ委任ニ依リ主計科ノミニ屬ス

ル日課及課業ヲ處理シ之カ實施ヲ指導監督スヘシ

第三百八十五條 主計長ハ主計科ノ部署ニ關スル訓練ヲ監掌シ

之カ方針計畫ヲ定メ實施ヲ指揮監督シテ其ノ熟達練磨ニ努メ
又會計、給與、庶務及厨業ニ關スル一般ノ教育ヲ按劃指導シテ
之カ進歩齊一ヲ圖ルヘシ

第三百八十六條 主計長ハ其ノ主管ノ船體艦船機裝品及兵備品

ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ分擔者ヲ督

勵シ他ノ主管者ト協力シテ之ヲ整備保存シ且其ノ充實ヲ圖リ

以テ常ニ實用ニ支障ナカラシメ又消耗品等ノ節約ニ注意シ法

規ノ制限及豫算ノ範圍内ニ於テ之ヲ處辨スルコトヲ努ムヘ

シ

第三百八十七條 主計長ハ其ノ主管ノ物件ニ異狀缺損アルコト

ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ原因ヲ精査シ必要ト認ムルモノ

ハ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ事件重大ナルモノハ先ツ其ノ概

要ヲ報告シ又緊急ノ場合ニ於テハ報告ニ先チ適宜必要ナル手

段ヲ執ルコトヲ得

第三百八十八條 主計長ハ其ノ主管ノ物件中改造、修理、檢査又

ハ定額ノ變更、豫算ノ増減等ヲ要スルモノアルトキハ理由ヲ

具シ之ヲ艦長ニ報告スヘシ但シ乘員ノ手ニテ施行シ得ル檢

査、修理等ニシテ事態輕微ナルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三百八十九條 主計長ハ其ノ主管ノ物件中乗員ノ手ニテ施行

シ得ル検査、修理、整頓、手入等ヲ要スルモノアルトキ其ノ主計科員ノミヲ以テ施行シ得ル場合ニハ速ニ之ヲ處理シ他ノ人員ヲ要スル場合ニハ之ヲ副長ニ請求シ若ハ他ノ主任者ニ之ヲ委託スヘシ

第三百九十條 主計長ハ其ノ主管物件ノ改造、修理、検査等ヲ施

行スルトキハ其ノ作業ノ狀況ヲ監視シ又兵備品等ヲ還納若ハ領收スルニ當リテハ品質ノ適否、數量ノ多寡等ニ注意スヘシ

第三百九十一條 主計長ハ戦闘後速ニ其ノ主管物件ノ缺損ヲ艦

長ニ報告シ爲シ得ル限之ヲ修補シテ爾後ノ戦闘ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第三百九十二條 主計長ハ其ノ主管ノ物件中重要ナルモノノ移

動積換ヲ行ハムトスルトキハ豫メ艦長ノ許可ヲ受ケ又艦ノ釣合ニ大ナル影響ヲ及ホス場合ニハ之ヲ内務長ニ協議スヘシ

第三百九十三條 主計長ハ戰則、部署、内規、操式、教範其ノ他諸

法規令達中其ノ所掌ニ關スル事項ヲ熟知シ其ノ嚴格適切ニ行ハルルヤ否ヤヲ監視シ又之ニ關シ意見ヲ有スルトキハ案ヲ具シ之ヲ艦長ニ提出スヘシ

第三百九十四條 主計長ハ其ノ所掌事項ニ關スル諸報告ノ調製

ニ任スヘシ

第三百九十五條 主計長ハ主計科作業日誌其ノ他所掌事項ニ屬

スル圖書、帳簿、記録等ヲ保管整理スヘシ

第三百九十六條 主計長ハ必要ニ應ジ主計長通達簿ヲ備ヘ艦長

命令ノ傳達、自己ノ令達通知其ノ他必要ナル事項ヲ記載シ關係者ヲシテ閱覽承知セシムヘシ

第三百九十七條 主計長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル

事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長及副長ニ報告スヘシ

第三百九十八條 主計長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外母艦ニ在リ

テハ主計長又ハ主計科士官ヲ置カサル關係艦船部隊ニ對シ主計長ノ職務ヲ行ヒ豫備艦ニ在リテハ就役準備ノ整頓ニ從事スヘシ

第十二章 副砲長

第三百九十九條 副砲長ハ砲術長ノ職務中副砲ニ關スルコトヲ

分擔シ又砲術長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケテ第五章ノ規定ニ準シ服務スヘシ

第十二章ノ二 高射長

第三九九條ノ二 高射長ハ砲術長ノ職務中高角砲及機銃ニ關スル

コトヲ分擔シ又砲術長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケテ第五章ノ規定

ニ準シ服務スヘシ

第十三章 飛行隊長

第三九九條ノ三 飛行隊長ハ飛行長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケテ飛行

隊ニ關スルコトヲ掌リ第八章ノ規定ニ準シ服務スヘシ

第十四章 兵科分隊長

第四百條 兵科分隊長ハ其ノ部下分隊員及部署員ヲ指揮統御シ

常ニ實踐躬行自ラ範ヲ垂レ部下ヲシテ各其ノ任務職責ニ努力

精勵セシメ軍紀風紀ヲ振肅シ士氣ヲ旺盛ナラシメ以テ艦内編

制ノ基礎ヲ鞏固ナラシムヘシ

第四百一條 兵科分隊長ハ部下分隊員及部署員ノ教育訓練ヲ實

施シ其ノ精神ヲ陶冶シ其ノ技能ヲ練磨スヘシ

第四百二條 兵科分隊長ハ其ノ分隊員ノ才幹、性行、技能、健否、

生立、家庭等ヲ詳知シ常ニ其ノ服務ノ狀況ヲ監督シ下士官以

下ノ進退等ニ關シテハ案ヲ具シテ艦長ニ提出シ且其ノ議ニ參

與スヘシ

第四百三條 兵科分隊長ハ其ノ分隊ノ下士官以下ノ人事ニ關ス

ル事務ヲ掌理シ其ノ關係書類ヲ保管整理スヘシ

第四百四條 兵科分隊長ハ其ノ分隊ニ配置セラレタル下士官以

下ニ對シ速ニ其ノ配置部署ニ應スル諸般ノ任務職責其ノ他必

要ナル事項ヲ指示シ衣囊、手箱、釣床、小銃、拳銃等ヲ交付シ且

新乗艦者ニ對シテハ成ルヘク速ニ艦内ノ構造、内規等ヲ知得

セシムヘシ

第四百五條 兵科分隊長ハ其ノ分隊員ヲシテ服裝敬禮等ニ違忒

ナカラシムルト共ニ軍人タルノ態度容儀ヲ保持セシメ又其ノ

乘退艦ノ際其ノ他必要アルトキハ釣床、被服、手箱等ヲ點檢シ

テ常ニ之ヲ整頓シ且清潔ニ保持セシムルコトニ注意スヘシ

第四百六條 兵科分隊長ハ軍醫長ト協力シテ其ノ分隊ノ下士官

以下ノ健康保持、體力養成等ニ留意シ第三百四十六條ノ健康

狀態檢査ヲ行フ場合ニハ之ニ立會フヘシ

第四百七條 兵科分隊長ハ其ノ分隊ノ下士官以下ニ官物ヲ尊重

愛護スルノ念ヲ養成シ又私産ノ濫費ヲ戒メ質素節儉ノ風ヲ奨

勵スヘシ

第四百八條 兵科分隊長ハ副長ノ命ニ依リ其ノ分隊ニ配當セラ

レタル兵員諸役員及衛兵ヲ選出スヘシ

第四百九條 兵科分隊長ハ其ノ分擔ノ船體、艦船艙裝品、機關、機關附屬物及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ當該主管者ノ指示ニ從ヒ之カ整頓保存ニ努ム且之ヲ清潔ニ保チ又其ノ手入掃除ヲ指揮監督シテ常ニ實用ニ支障ナカラシメ事ニ當リ分擔諸物件就中兵器及機關ノ能力ヲ最大ニ發揮セシムルコトヲ期スヘシ

第四百十條 兵科分隊長ハ其ノ分擔ノ物件中檢査修理ヲ要スルモノアルトキ又ハ異狀アルヲ發見シタルトキハ速ニ之ヲ當該主管者ニ報告シ且其ノ原因理由ヲ探明シ主管者ノ指示ニ從ヒ爲シ得ル限り之カ修補ヲ行フヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ適宜必要ナル手段ヲ執リタル後報告スルコトヲ得

第四百十一條 兵科分隊長ハ前二條ノ場合ニ於テ檢査、修理、手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記載シテ副長又ハ當該主管者ニ提出スヘシ

第四百十二條 兵科分隊長ハ分擔兵器ノ豫備具及機關附屬物ノ所在及適否等ヲ詳知シ且部下ヲシテ普ク之ヲ了知セシメ機ニ臨ミ遺算ナキコトヲ努ムヘシ

第四百十三條 兵科分隊長ハ戰鬪後速ニ其ノ部下ノ行爲、死傷者、拔群ノ勳功ヲ奏シタル者ノ氏名及其ノ功績ヲ艦長ニ報告シ又分擔物件ノ缺損ヲ當該主管者ニ報告スルト共ニ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ努ムヘシ

第四百十四條 兵科分隊長衛兵司令ヲ命セラレタルトキハ副長ノ命ヲ承ケ衛兵副司令以下衛兵ヲ指揮シ番兵ヲ配置シ其ノ職務ヲ監督シ時時艦内ヲ巡視シ甲板士官ノ補助ヲ得テ直接艦内警察ノ任ニ當リ軍紀風紀ヲ維持シ定則命令ノ實行ヲ努ムヘシ衛兵司令艦内ニ於テ犯行者アルヲ認メタルトキハ直ニ制止シ概況ヲ調査シテ之ヲ副長ニ報告シ且之ヲ犯行者所屬分隊長ニ通知スヘシ

他ノ兵科將校衛兵司令ヲ命セラレタルトキハ亦前二項ノ規定ニ依リ服務スヘシ

第四百十五條 兵科分隊長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外艦長及副長ノ命ヲ承ケ服務シ又艦長ノ定ムル所ニ依リ其ノ内務科ニ屬スル者ハ内務長、航海科ニ屬スル者ハ航海長、砲術科ニ屬スル者ハ砲術長、副砲長又ハ高射長、水雷科ニ屬スル者ハ水雷長、機雷科ニ屬スル者ハ機雷長、通信科ニ屬スル者ハ通信長、

飛行科ニ屬スル者ハ飛行長又ハ飛行隊長、機關科ニ屬スル者ハ機關長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第四百十六條 兵科分隊長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長副長及其ノ屬スル所ノ科ニ從ヒ内務長、航海長、砲術長、水雷長、機雷長、通信長、飛行長又ハ機關長ニ報告スヘシ

第四百十七條乃至第四百三十三條 削除

第十五章 軍醫科分隊長

第四百三十四條 軍醫科分隊長ハ其ノ部下分隊員及部署員ヲ指揮統御シ常ニ實踐躬行自ラ範ヲ垂レ部下ヲシテ各其ノ任務職責ニ努力精勵セシメ軍紀風紀ヲ振肅シ士氣ヲ旺盛ナラシメ以テ艦内編制ノ基礎ヲ鞏固ナラシムヘシ

第四百三十五條 軍醫科分隊長ハ部下分隊員及部署員ノ教育訓練ヲ實施シ其ノ精神ヲ陶冶シ其ノ技能ヲ練磨スヘシ

第四百三十六條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊員ノ才幹、性行、技能、健否、生立、家庭等ヲ詳細シ常ニ其ノ服務ノ狀況ヲ監督シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ案ヲ具シ軍醫長ヲ經テ艦長ニ

提出シ且其ノ議ニ參與スヘシ

第四百三十七條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊ノ下士官以下ノ人事ニ關スル事務ヲ掌理シ其ノ關係書類ヲ保管整理スヘシ

第四百三十八條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊ニ配置セラレタル下士官以下ニ對シ速ニ其ノ配置部署ニ應スル諸般ノ任務職責其ノ他必要ナル事項ヲ教示シ衣囊、手箱、釣床、拳銃等ヲ交付シ且新乘艦者ニ對シテハ成ルヘク速ニ艦内ノ構造、内規等ヲ知得セシムヘシ

第四百三十九條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊員ヲシテ服裝敬禮等ニ違式ナカラシムルト共ニ軍人タルノ態度容儀ヲ保持セシメ又其ノ乘退艦ノ際其ノ他必要アルトキハ釣床、被服、手箱等ヲ點檢シテ常ニ之ヲ整頓シ且清潔ニ保持セシムルコトニ注意スヘシ

第四百四十條 軍醫科分隊長ハ軍醫長ト協力シテ其ノ分隊ノ下士官以下ノ健康保持、體力養成等ニ留意シ第三百四十六條ノ健康狀態檢査ヲ行フ場合ニハ之ニ立會フヘシ

第四百四十一條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊ノ下士官以下ニ官物ヲ尊重愛護スルノ念ヲ養成シ又私財ノ濫費ヲ戒メ質素節儉ノ風ヲ獎勵スヘシ

第四百四十二條 軍醫科分隊長ハ其ノ分隊ノ船體、艦船繕裝品

及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ軍醫長ノ指示ニ從ヒ之カ整頓保存ニ努メ且之ヲ清潔ニ保チ又其ノ手入掃除ヲ指揮監督シテ常ニ實用ニ支障ナカラシムヘシ

第四百四十三條 軍醫科分隊長ハ其ノ分擔ノ物件中檢査修理ヲ要スルモノアルトキ又ハ異狀アルヲ發見シタルトキハ速ニ之

ヲ軍醫長ニ報告シ且其ノ原因理由ヲ探明シ軍醫長ノ指示ニ從ヒ爲シ得ル限り之カ修補ヲ行フヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ適宜必要ナル手段ヲ執リタル後報告スルコトヲ得

第四百四十四條 軍醫科分隊長ハ前二條ノ場合ニ於テ檢査、修理、手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ軍醫長ニ請求スヘシ

第四百四十五條 軍醫科分隊長ハ戰鬪後速ニ其ノ部下ノ行爲、死傷者、拔群ノ勳功ヲ奏シタル者ノ氏名及其ノ功績ヲ艦長ニ報告シ又分擔物件ノ缺損ヲ軍醫長ニ報告スルト共ニ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ努ムヘシ

第四百四十六條 軍醫科分隊長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外艦長及副長ノ命ヲ承ケ服務シ又軍醫長ノ命ヲ承ケ其ノ職務ヲ分擔補助スヘシ

第四百四十七條 軍醫科分隊長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長副長及軍醫長ニ

報告スヘシ

第十六章 主計科分隊長

第四百四十八條 主計科分隊長ハ其ノ部下分隊員及部署員ヲ指揮統御シ常ニ實踐躬行自ラ範ヲ垂レ部下ヲシテ各其ノ任務職責ニ努力精勵セシメ軍紀風紀ヲ振肅シ士氣ヲ旺盛ナラシメ以テ艦内編制ノ基礎ヲ鞏固ナラシムヘシ

第四百四十九條 主計科分隊長ハ部下分隊員及部署員ノ教育訓練ヲ實施シ其ノ精神ヲ陶冶シ其ノ技能ヲ練磨スヘシ

第四百五十條 主計科分隊長ハ部下分隊員ノ才幹、性情、技能、健否、生立、家庭等ヲ詳知シ常ニ其ノ服務ノ狀況ヲ監視シ下士官以下ノ進退等ニ關シテハ案ヲ具シ主計長ヲ經テ艦長ニ提出シ且其ノ議ニ參與スヘシ

第四百五十一條 主計科分隊長ハ其ノ分隊ノ下士官以下ノ人事ニ關スル事務ヲ掌理シ其ノ關係書類ヲ保管整理スヘシ

第四百五十二條 主計科分隊長ハ其分隊ニ配置セラレタル下士官以下ニ對シ速ニ其ノ配置部署ニ應スル諸般ノ任務職責其ノ他必要ナル事項ヲ教示シ衣囊、手箱、釣床、拳銃等ヲ交付シ且新乘艦者ニ對シテハ成ルヘク速ニ艦内ノ構造、内規等ヲ知得セシムヘシ

第四百五十三條 主計科分隊長ハ其ノ分隊員ヲシテ服裝敬禮等

ニ違式ナカラシムルト共ニ軍人タルノ態度客儀ヲ保持セシメ又其ノ乘退艦ノ際其ノ他必要アルトキハ釣床、被服、手箱等ヲ點檢シテ常ニ之ヲ整頓シ且清潔ニ保存セシムル事ニ注意スヘシ

第四百五十四條

主計科分隊長ハ軍醫長ト協力シテ其ノ分隊ノ下士官以下ノ健康保持、體力養成等ニ留意シ第三百四十六條ノ健康狀態檢査ヲ行フ場合ニハ之ニ立會フヘシ

第四百五十五條

主計科分隊長ハ其ノ分隊下士官以下ニ官物ヲ尊重愛護スルノ念ヲ養成シ又私財ノ濫費ヲ戒メ質素節儉ノ風ヲ獎勵スヘシ

第四百五十六條

主計科分隊長ハ其ノ分擔ノ船體、艦船儀裝品及兵備品ノ構造、來歴、性能、用法、效力及其ノ現狀ヲ知悉シ主計長ノ指示ニ從ヒ之カ整頓保存ニ努メ且之ヲ清潔ニ保チ又其ノ手入掃除ヲ指揮監督シテ常ニ實用ニ支障ナカラシムヘシ

第四百五十七條

主計科分隊長ハ其ノ分擔ノ物件中檢査修理ヲ要スルモノアルトキ又ハ異狀アルヲ發見シタルトキハ速ニ之ヲ主計長ニ報告シ且其ノ原因理由ヲ探明シ主計長ノ指示ニ從ヒ爲シ得ル限之カ修補ヲ行フヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ適宜必要ナル手段ヲ執リタル後報告スルコトヲ得

第四百五十八條

主計科分隊長ハ前二條ノ場合ニ於テ檢査、修理、手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ主計長ニ請求スヘシ

第四百五十九條

主計科分隊長ハ戰鬪後速ニ其ノ部下ノ行爲、死傷者、拔群ノ勳功ヲ奏シタル者ノ氏名及其ノ功績ヲ艦長ニ報告シ又分擔物件ノ缺損ヲ主計長ニ報告スルト共ニ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ努ムヘシ

第四百六十條

主計科分隊長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外艦長及副長ノ命ヲ承ケ服務シ又主計長ノ命ヲ承ケ其ノ職務ヲ分擔補助スヘシ

第四百六十一條

主計科分隊長其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ艦長、副長及主計長ニ報告スヘシ

第十七章 乗組士官

第四百六十二條

艦長附、副長附又ハ内務士タル乗組兵科士官ハ艦長、副長又ハ内務長ノ命ヲ承ケ服務スルノ外艦長ノ指定ニ依リ平常甲板士官トシテ勤務スルヲ例トス

第四百六十三條

甲板士官ハ副長ノ命ヲ承ケ衛兵司令ヲ佐ケテ艦内警察ノコトニ從ヒ艦内ノ紀律及定則ノ維持ニ任シ又當直將校ノ命ヲ承ケテ日課及號令ノ確實迅速ニ實行セララルコトヲ努メ屢艦内ヲ巡視シテ定則命令ノ違反者アルトキハ之ヲ制止訓戒シ要スレハ之ヲ副長、當直將校ニ報告シ衛兵司令又ハ

關係分隊長ニ申告スヘシ

第四百六十四條

甲板士官ハ各科各分隊ニ專屬スル者ヲ除クノ外兵員諸役員及傭人ヲ使役シテ諸甲板、内外舷、食器室、烹炊室、流シ場、浴室、厠等ノ整頓掃除ヲ督勵シ船體等ノ保存手入修理整備等ニ關シ意見ヲ有スルトキハ之ヲ副長ニ報告シ又ハ當該主管者分擔者ニ申告スヘシ

第四百六十五條

甲板士官ハ下士官以下乗員ノ才幹、性行、技能、健否等ヲ詳知シ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ時時之ヲ副長ニ報告シ又ハ關係分隊長ニ申告シ之カ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第四百六十六條

内務士、航海士、砲術士、水雷士、機雷士、通信士、飛行士、飛行隊士、機關長附及分隊士タル乗組兵科士官ハ各其ノ直屬上官ノ命ヲ承ケ服務シ其ノ職務ヲ分擔補助シ關係下士官以下ノ才幹、性行、技能、健否等ヲ詳知シ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ時時之ヲ直屬上官ニ報告シ之カ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第四百六十七條

乗組兵科士官衛兵副司令ヲ命セラレタルトキハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ服務シ其ノ職務ヲ分擔補助スヘシ

第四百六十八條

乗組兵科士官中短艇指揮タル者ハ副長及當該短艇ヲ分擔スル分隊長ノ命ヲ承ケ艇員ヲ指揮訓練シ短艇及其ノ要具ヲ清潔ニ保チ之カ整備ニ任シ手入作業ノ爲兵員ヲ要スルトキハ當該分隊長ニ申告スヘシ

第四百六十九條

乗組兵科士官短艇ノ發差ニ際シ之カ指揮ヲ命セラレタルトキハ副長、當該短艇分擔ノ分隊長又ハ當直將校ノ命ヲ承ケ其ノ艇員ヲ指揮監督シテ任務ノ遂行ニ努メ短艇保安ノ責ニ任スヘシ

第四百七十條及第四百七十一條 削除

第四百七十二條

乗組軍醫科士官ハ各其ノ直屬上官ノ命ヲ承ケ服務シ其ノ職務ヲ分擔補助シ關係下士官以下ノ才幹、性行、技能、健否等ヲ詳知シ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ時時之ヲ直屬上官ニ報告シ之カ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第四百七十三條

乗組主計科士官ハ各其ノ直屬上官ノ命ヲ承ケ服務シ其ノ職務ヲ分擔補助シ關係下士官以下ノ才幹、性行、技能、健否等ヲ詳知シ其ノ服務ノ狀況ニ注意シ時時之ヲ直屬上官ニ報告シ之カ進退等ニ關シテハ其ノ議ニ參與スヘシ

第四百七十四條

乗組士官ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外艦長ノ定

ムル所ニ依リ諸配置ニ於ケル各上官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第四百七十五條

乗組士官其ノ職ヲ退クトキハ擔任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ直屬上官ニ報告スヘシ

第十八章

當直將校、副直將校

第四百七十六條

當直將校ハ諸當直員及甲板士官ヲ指揮シテ艦ノ内外全般ノ現況ヲ監視シ主トシテ直接艦ノ保安ニ任シ艦内ノ百事總テ急遽ノ要求ニ應スルノ準備アラシムルヲ要ス

第四百七十七條

當直將校ハ艦内ノ諸物件ヲ整頓シ軍紀風紀ヲ維持シ定則命令ノ實行ヲ掌ルヘシ

第四百七十八條

當直將校ハ機關科以外諸當直員ノ勤務ヲ監督シ嚴密ニ之ヲ履行セシムヘシ

第四百七十九條

當直將校ハ艦長、副長又ハ特ニ其ノ命ヲ承クル將校直接指揮ヲ執ル場合ノ外艦長、副長ノ命ヲ承ケテ日課ノ施行、短艇ノ發差、運用ノ諸作業其ノ他日常百般ノ艦内行事ヲ處理監督スヘシ

第四百八十條

當直將校ハ航海中常ニ前艦橋ニ在リテ服務シ艦長若ハ副長ノ許可ヲ受ケ又ハ當直將校ト爲ルヘキ資格ヲ有ス

ル者ノ交代ヲ得ルニ非サレハ定所ヲ離去スルコトヲ得ス

碇泊中當直將校ハ艦橋附近、最上甲板、上甲板等當直勤務ニ適當ナル場所ニ於テ服務スヘシ

第四百八十一條

當直將校ハ航海中艦長ノ定ムル所ニ依リ艦ノ操縦ヲ掌ルヘシ但シ此ノ場合航海操縦上ノコトニ關シテハ航海長ノ指示ニ從フヘシト雖意見ヲ有スルトキハ一旦之ヲ開陳スルコトヲ得

第四百八十二條

當直將校ハ當直中ノ諸事件ヲ處理スル爲兩舷直ノ人員ヲ使役スヘシ兩舷直以上ノ人員ヲ要スル作業ト雖士官ノ配置ヲ要セサルモノハ副長ノ許可ヲ得テ當直將校之ヲ處理スルコトヲ得但シ緊急ノ場合ニ於テ其ノ許可ヲ承クルノ違ナキトキハ直ニ之ヲ處理シ速ニ報告スヘシ

第四百八十三條

當直將校ハ休憩時間中成ルヘク下士官以下ヲシテ作業ニ從事セシメサルコトニ注意スヘシ

第四百八十四條

當直將校ハ一齊動作ヲ要スル作業又ハ艦外ニ顯ハルル作業中天幕ノ展疊洗濯物ノ揚卸等ハ所在首席指揮官ノ艦ニ倣ヒ之ヲ施行スルコトニ注意スヘシ

第四百八十五條

當直將校ハ針路ノ變換、速力ノ増減、錨數ノ増

減、錨鎖ノ伸縮、短艇ノ揚卸其ノ他重要ナル事件ニ關シテハ必
ス艦長又ハ副長ノ命ヲ待ツヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ適宜
必要ナル處置ヲ執リタル後事件ニ應シ速ニ之ヲ艦長又ハ副長
ニ報告シ航海長ニ通報スヘシ

第四百八十六條 當直將校ハ索具天幕等ノ弛張適當ナルヤ各短
艇ニ不體裁ナキヤ其ノ他艦ノ外容ヲ損スルモノナキヤニ注意
スヘシ

第四百八十七條 當直將校ハ航海日誌ノ記註ヲ掌リ自己ノ署名
セル記事ニ對シ其ノ責ニ任スヘシ

第四百八十八條 當直將校ハ各甲板ノ清潔、通風及乾燥ニ注意
シ下士官以下ヲシテ成ルヘク其ノ身體被服ヲ濕潤セシメサル
コトヲ努メ又定所外ニ濕潤物ヲ置カシムヘカラス

第四百八十九條 當直將校ハ當直中ニ於ケル信號及無線電信電
話ノ發受ヲ監督スヘシ

第四百九十條 當直將校ハ夜間海上衝突豫防法ニ依リ點スヘキ
諸燈ノ適當ニ點燈輝映シアルヤ且豫備燈ハ準備シアルヤニ注
意スヘシ

第四百九十一條 當直將校ハ諸信號器具ノ準備ニ注意シテ常ニ

急遽信號ノ發受ニ支障ナカラシムルコトヲ努ムヘシ

第四百九十二條 當直將校ハ旗艦艦等ヨリ命令信號等ニ接スルト
キハ直ニ之ヲ艦長、副長ニ報告スルト共ニ關係諸員ニ通報シ其
ノ信號ノ下ルヤ速ニ其ノ命令ヲ實行シ得ルノ準備ヲ爲スヘシ

第四百九十三條 當直將校ハ橋上ニ人員ヲ登ラシムルニ際シ船
體ト隔縁シアル索具等ニ接觸スルノ虞アルトキハ一時爲線電
信電話ノ發信ヲ停止スヘシ

第四百九十四條 當直將校ハ夜間副直將校及當直衛兵伍長ヲシ
テ毎時艦内ヲ巡檢セシメ其ノ狀況ヲ報告セシムヘシ

第四百九十五條 當直將校ハ砲門、前扉、舷窓、天窓、昇降口、通
風口等ノ現狀ニ注意シ天候海上ノ模様ヲ顧慮シテ海水、雨水
等ノ浸入スルコトナカラシメ其ノ閉鎖ヲ命シタルモノハ艦
長、副長又ハ自己ノ命令ナクシテ漫ニ之ヲ開カシムヘカラス

第四百九十六條 當直將校ハ航海碇泊ヲ問ハス艦外ニ對スル見
張監視ヲ嚴ニシ見張員等ニ對シ必要ナル注意ヲ與フヘシ

第四百九十七條 當直將校ハ舟艇ノ發著、人員ノ出入、物品ノ積
卸等ヲ監視シ自艦短艇ノ發艦ハ必ス自己ノ命令又ハ許可ヲ俟
タシメ且短艇ノ儀容取扱ヲ監督シ殊ニ夜間ハ必要ナル燈火ノ

準備ニ注意スヘシ

第四百九十八條

當直將校ハ其ノ艦側ニ繫留スル舟艇ニ注意シ自艦ノ短艇ニハ日中適宜守艇員ヲ置キ其ノ保安整頓ニ任セシムヘシ

第四百九十九條

當直將校ハ常ニ晴雨計ノ昇降ニ注意シ荒天ノ際ニハ移動物ノ罔縛、外舷ノ狀況等ニ考慮ヲ拂ヒ且碇泊中ハ測鉛ヲ垂下スルト共ニ陸上物標ノ方位ニ依リ走錨ノ有無ヲ確ムル等ノ手段ヲ執リ錨及錨鎖ニ異變ナキヤニ注意スヘシ

第五百條

當直將校ハ下士官以下ノ上陸及歸艦ニ際シテハ之ヲ整列セシメテ其ノ服裝及携帶品等ヲ點檢シ必要ナル事項ヲ口達シ又之ヲ乘艇セシムルニハ海上ノ模様ニ應シ危險ナキ様搭乗人員ヲ適當ニ制限スヘシ

第五百一條

當直將校ハ外來文書ヲ受領スルトキハ公文ハ悉ク之ヲ主計科事務室ニ致シ私信中電報ハ直接其ノ本人ニ其ノ他ハ之ヲ各公室又ハ先任衛兵伍長ニ配付スヘシ但シ小包、書留等ニシテ准士官以上宛ノモノハ直接本人ニ下士官以下宛ノモノハ先任衛兵伍長ニ交付シ各郵便物受渡簿ニ證印セシムルモノトス

〔海三十二〕

司令部士官宛ノ文書ハ公私共ニ之ヲ副官事務室ニ送致スヘシ

第五百二條

當直將校ハ艦長、副長ノ承認ヲ得テ海軍部外ノ者ニ艦内ヲ觀覽セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ適當ノ案内者ヲ附シ軍事上ノ機密ヲ保護スルコトヲ努ムヘシ

第五百三條

當直將校ハ左ノ場合及事項ハ之ヲ艦長ニ報告シ且第一號中氣象ニ關スル事項及第三號乃至第八號ハ之ヲ航海長ニ通報スヘシ

一 本艦ニ關係アル信號、無線電信電話

二 諸點檢及基本教練開始ノ五分前並諸儀式時刻ノ十分前

三 天候ノ急變ヲ認ムルトキ

四 内外國ノ海軍艦船、重立チタル商船ノ出入港及之ニ出會スルトキ

五 艦船ノ漂流又ハ走錨スルヲ發見スルトキ若ハ本艦ニ近接

航行シテ衝突ノ虞アルトキ

六 出港前機關科當直將校ヨリ報告スル試運轉ノ結果及舵取裝置並通信器ノ整備

七 燈臺、陸影其ノ他航海上重要ナル物件ヲ發見スルトキ

八 編隊航行中列ヲ脫シ又ハ著シク定位外ニ出テタル艦アル

トキ

九 軍艦旗上下ノ五分前

十 内外國艦船ヨリ訪問ヲ受クルトキ

十一 艦長ノ出迎フヘキ文武官ノ來艦スルトキ及必要ニ應シ

退艦スルトキ

十二 前諸號ノ外不時ノ出來事及附近海陸ニ於ケル重大ナル

事項

第五百四條 當直將校ハ左ノ場合及事項ハ之ヲ副長ニ報告スヘ

シ

一 前條第一號乃至第五號

二 規定ノ日課外ニ施行ヲ要スル艦長ノ命令事項

三 主要ナル日課施行時刻ノ五分前

四 機關科當直將校ヨリ報告スル石炭庫及重油「タンク」ノ最

高溫度竝機關室汚水ノ深度

五 艦長ノ出入及艦長不在ノトキ前條第九號乃至第十一號

六 上陸下士官以下ノ員數及上陸員ノ歸期ヲ失シタル者アル

トキ竝其ノ歸艦シタルトキ

七 新乘艦者アルトキ

八 前諸號ノ外不時ノ出來事及附近海陸ニ於ケル重大ナル事

項

第五百五條 當直將校ハ旗艦ニ在リテハ左ノ場合及事項ハ之ヲ

參謀ニ通報スヘシ

一 第五百三條第三號乃至第九號

二 旗艦又ハ總艦ニ關スル信號、無線電信電話

三 重要ナル諸點檢開始ノ五分前及諸儀式時刻ノ十分前

四 豫定航路ニ就キ航海スル場合變針位置ニ達スル約十分

前

五 司令長官又ハ司令官訪問ノ爲文武官ノ來艦スルトキ及要

スレハ退艦スルトキ

六 司令長官、司令官又ハ參謀長ノ出入

七 前諸號ノ外不時ノ出來事及附近海陸ニ於ケル重大ナル事

項

當直將校ハ當直艇ノ來艦スルトキハ之ヲ副官事務室ニ通報ス

ヘシ

第五百五條ノ二 前三條ノ場合ニ於テ特ニ重要ナル事項ニ對シ

テハ當直將校又ハ副直將校自ラ之ヲ報告又ハ通報スヘシ

第五百六條 當直將校ハ特ニ左記事項ヲ知悉シ當直交代ノ際ハ

遺漏ナク之ヲ申繼クヘシ但シ重要ナル事項ハ當直將校申繼簿ニ記載引繼クヘシ

一 艦橋命令簿記載ノ事項

二 當直員勤務ノ狀況

三 當直勤務ニ關係アル艦長、副長ノ令達

四 實施中ノ作業及今後施行ヲ要スル事項

五 艦内外ノ現狀及注意事項

六 晴雨計ノ經過及現狀並豫期スル天候

七 海圖上本艦ノ位置及海底ノ深淺

以下航海中

八 本艦ノ針路、速力及羅針儀自差

九 主機械及罐ノ使用區分並ニ主機械回轉數

十 操舵ノ現狀

十一 陣形及旗艦前續艦後續艦ニ對スル本艦ノ位置及以上諸

艦ノ針路速力並主機械回轉數

十二 視界内ニ在ル重要ナル物件及發見セムトスルモノ又ハ

見失ハムトスルモノ

十三 救助艇、同艇員ノ整備及其ノ降下並救助標投下準備
 十四 防水扉蓋、砲門、舷窓等ノ現狀
 十五 砲煩、錨其ノ他重量物及移動物ノ繫止並檣桁短艇ノ現狀

狀

十六 機關室ニ至ル通信器ノ現狀

十七 汽角汽笛及各種霧中信號ノ準備

十八 各種夜中信號ノ準備及速力燈、汽燈、舷燈其ノ他衝突豫

防法ニ依リ點燈スヘキ諸燈ノ狀態

十九 原因不明ノ音響ノ有無

以下碇泊中

二十 錨及錨鎖ノ現狀

二十一 卸シアル短艇及艦ヲ離レ居ル短艇並人員

二十二 舷外ニ落下スルノ虞アル人員及物件ニ對スル保安ノ

方法

二十三 外來者ノ有無

第五百七條 副直將校ハ當直將校ノ命ヲ承ケ服務シ當直將校ヲ

補助シテ其ノ職權内ニ屬スル事物ノ正確ニ處理セラルルコト

ニ注意シ又主トシテ當直將校ノ傳令及信號ハ監督ニ任スヘ

シ

第五百八條 副直將校ハ艦橋附近、最上甲板、上甲板等其ノ勤務

ニ適當ナル場所ニ於テ服務シ當直將校ノ許可ヲ受クルカ又ハ副直將校ト爲ルヘキ資格ヲ有スル者ノ交代ヲ得ルニ非サレハ其ノ勤務場所ヲ離去スヘカラス

第五百九條 副直將校ハ四方ニ注目シ他艦船ノ進退、暗礁、陸影、燈臺其ノ他重要ナル事項ヲ發見シタルトキハ速ニ之ヲ當

直將校ニ報告スヘシ

第五百十條 副直將校ハ定時ニ測程儀、晴雨計及寒暖計ヲ檢シ之ヲ當直將校ニ報告シ且當直記錄ノ記註ヲ掌ルヘシ

第五百十一條 副直將校交代スルトキハ第五百六條ニ準シ申繼ヲ爲シ終テ之ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第十九章 機關科當直將校、機關科副直將校

第五百十二條 機關科當直將校ハ機關科全般ノ現況ニ注意シ機

關科ニ於ケル保安、軍紀風紀ノ維持定期命令ノ實行ヲ掌リ且主機械又ハ艦務遂行上必要ナル補助機械ノ使用ニ關シ艦ノ操縦者又ハ當直將校ノ指揮ヲ承ケ又艦内一般ノ作業ニ注意シテ之カ遂行上機關科ニ屬スル事項ニ關シ遺算ナキヲ期スヘシ

第五百十三條 機關科當直將校ハ機關長直接之ニ當ルトキノ外

機關長ノ命ヲ承ケ日課ノ施行其ノ他機關科日常ノ行事ヲ處理シ且機關日誌ノ記註ヲ掌リ自己ノ署名セル記事ニ對シ其ノ責ニ任スヘシ

第五百十三條ニ 機關科當直將校ハ「ビルヂ」又ハ「バラスト」水ノ放出ニ注意シ碇泊中竝沿岸航行中ハ特ニ海水ヲ汚漬セサルコトニ留意スヘシ

第五百十四條 機關科當直將校ハ航海中常ニ機關室ニ在リテ服務シ機關長ノ許可ヲ受ケ又ハ機關科當直將校ト爲ルヘキ資格ヲ有スル者ノ交代ヲ得ルニ非サレハ定所ヲ離去スルトヲ得

碇泊中機關科當直將校ハ機關室其ノ他宿直勤務ニ適當ナル場所ニ在リテ服務スヘシ

第五百十五條 機關科當直將校ハ機關室内ヲ整頓シ清潔ニ保テ

且通風ヲ良好ナラシムルコトヲ努メ又機關、兵器等ノ保護及需品等ノ節約ヲ圖ルヘシ

第五百十六條 機關科當直將校ハ作業中ノ機關科下士官以下ノ健康保持ニ努メ又休憩時間中成ルヘク作業ニ從事セシメサル

コトニ注意スヘシ

第五百十七條

機關科當直將校ハ機關室内ニ異狀ヲ發見シタル

トキ又ハ其ノ兆アルヲ認メタルトキハ直ニ之ヲ機關長ニ報告スヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テハ適宜之ヲ處理スルト共ニ機關長ニ報告シ且艦ノ操縱ニ影響アルトキハ之ヲ艦橋ニ在ル艦長、航海長又ハ當直將校ニ報告スヘシ

第五百十八條

機關科當直將校ハ左ノ場合ニハ豫メ當直將校ノ承認ヲ受クヘシ

- 一 碇泊中水線以上ヨリ灰燼又ハ汚水ヲ捨ツルトキ
- 二 試運轉ヲ爲ストキ
- 三 大氣ニ放汽スルトキ
- 四 航海中汽笛角ヲ手入又ハ修理スルトキ

第五百十九條

機關科當直將校ハ毎日正午ニ於ケル燃料及罐用水ノ現量ヲ機關長ニ報告シ且之ヲ内務長及當直將校ニ通報ス

ヘシ

第五百二十條

機關科當直將校ハ航海中機關科當直員ヲ指揮監督シテ機關全般ノ操縱ヲ掌リ艦橋ニ在ル艦長、航海長又ハ當直將校ノ指揮ニ從ヒ常ニ急遽ノ要求ニ應スルノ準備ヲ爲スヘシ

第五百二十一條

機關科當直將校ハ航海中特ニ機關ノ運轉ニ關シ當直員ノ訓練ニ努メ之カ指導ノ任ニ當ルヘシ

第五百二十二條

機關科當直將校ハ航海中當直勤務ニ就クニ當リ之カ引繼ヲ受クルニ先チ機關動作ノ現狀ヲ視察スヘシ

第五百二十三條

機關科當直將校ハ航海中初夜石炭庫及重油「タンク」ノ最高溫度竝機關室汚水深度ヲ機關長及艦橋ニ報告スヘシ

第五百二十四條

機關科當直將校ハ航海中特ニ左記事項ヲ知悉シ當直交代ノ際ハ遺漏ナク之ヲ申繼クヘシ

- 一 當直勤務ニ關係アル艦橋及機關長ヨリノ令達
- 二 當直員勤務ノ狀況
- 三 本艦ノ速力、主機械ノ使用區分竝ニ操縱ノ狀況
- 四 罐ノ使用區分及汽釀ノ狀況
- 五 使用中ノ石炭庫重油「タンク」及給水「タンク」ノ現狀、燃料及罐水消費ノ狀況使用セサル石炭庫重油「タンク」竝ニ豫備水、飲料水及雜用水ノ「タンク」ノ狀態竝ニ石炭庫内從業員ノ數
- 六 主機械關聯補機使用ノ狀況、使用セサル主機械關聯補機

ノ状態

七 防水扉蓋及其ノ開閉裝置ノ現状

八 重量物移動物ノ繫止

九 通信裝置ノ現状

第五百二十五條 機關科當直將校ハ碇泊中機關科諸當直員ヲ指揮監督シ諸機械ノ使用ヲ監理スヘシ

第五百二十六條 機關科當直將校ハ碇泊中止業後機械室及罐室ヲ巡檢シ諸弁嘴ハ規定命令ノ如ク閉鎖シアルヤ諸物件ハ定所ニ格納シアルヤ火災其ノ他異變ヲ生スルノ虞ナキヤ等ヲ確認シ其ノ狀況ヲ機關長ニ報告スヘシ職工ノ止業退艦シタルトキ亦同シ

第五百二十七條 機關科當直將校ハ碇泊中初夜機關室(機關科所掌以外ノモノハ副長ノ委任ニ依ル)ヲ巡檢シ其ノ狀況ト共ニ石炭庫及重油「タンク」ノ最高溫度竝ニ機關室(機關科所掌以外ノモノハ副長ノ委任ニ依ル)汚水深度ヲ副長及機關長ニ報告スヘシ

第五百二十八條 機關科當直將校ハ出港前機關ノ運轉準備ヲ爲シ機關長監視ノ下ニ主機械ノ試運轉ヲ行ヒ其ノ命ヲ俟テテ結果ヲ艦橋ニ報告スヘシ

第五百二十九條 機關科當直將校ハ出港前蒸氣舵取機(機械室裝備ノモノ)ノ試運轉ヲ行ヒ又諸通信裝置ノ動作ヲ檢シ其ノ結果ヲ機關長ニ報告スヘシ

第五百三十條 機關科當直將校ハ碇泊中特ニ左記事項ヲ知悉シ當直交代ノ際ハ遺漏ナク之ヲ申繼クヘシ

- 一 當直勤務ニ關係アル艦橋及機關長ヨリノ令達
- 二 當直員及事業部員勤務ノ狀況
- 三 造水裝置使用ノ狀況、使用セサル造水裝置ノ狀況
- 四 使用罐數、汽釀ノ狀況、使用セサル罐ノ狀況
- 五 使用中ノ石炭庫重油「タンク」及給水「タンク」ノ現状、燃料及罐水消費ノ狀況、使用セサル石炭庫重油「タンク」竝ニ豫備水、飲料水及雜用水ノ「タンク」ノ狀態竝ニ石炭庫内従業員ノ數
- 六 機關科作業ノ狀況、艦全般ノ作業ニシテ機關科ニ關係アル事項

第五百三十一條 機關科副直將校ハ機關科當直將校ノ命ヲ承ケ服務シ機關科當直將校ヲ補助シテ其ノ職權内ニ屬スル事項ノ正確ニ處理セラルルコトニ注意スヘシ

第五百三十二條 機關科副直將校ハ機關室等其ノ勤務ニ適當ナ

ル場所ニ於テ服務シ機關科當直將校ノ許可ヲ受クルカ又ハ機關科副直將校ト爲ルヘキ資格ヲ有スル者ノ交代ヲ得ルニ非サレハ其ノ勤務場所ヲ離去スヘカラス

第五百三十三條 機關科副直將校ハ機關ノ狀態及動作ニ注意シ

機關室内ニ異狀ヲ發見シタルトキ又ハ其ノ兆アルヲ認メタルトキハ直ニ之ヲ機關科當直將校ニ報告スヘシ但シ緊急ノ場合ニ於テ適宜之ヲ處理スルト共ニ機關科當直將校ニ報告スヘシ

第五百三十四條 機關科副直將校ハ航海中少クトモ毎直一回機械室、罐室及軸室ヲ巡視シ其ノ狀況ヲ機關科當直將校ニ報告スヘシ

第五百三十五條 機關科副直將校交代スルトキハ第五百二十四條及第五百三十條ニ準シ申繼ヲ爲シ終テ之ヲ機關科當直將校ニ報告スヘシ

第二十章 乘組特務士官、准士官

第五百三十六條 掌内務長ハ内務長ノ命ヲ承ケ内務長主管中所

掌ニ屬スル船體、艦船艦裝品、機關、機關附屬物、兵備品及材料ノ出納修理ニ關スル事項ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有効ニ保持スヘシ

第三百六條ノ二 掌内務長ハ屢艦内ヲ見廻リ内務長主管中所掌物件ノ現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ内務長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第三百七條ノ三 掌内務長ハ内務長主管中所掌物件ノ改造又ハ修理ヲ行フトキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第三百八條ノ四 掌内務長ハ内務長主管中所掌兵備品、機關附屬物及材料ヲ領收又ハ還納スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ檢査スヘシ

第三百九條ノ五 掌内務長ハ内務長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ專業請求簿ニ記載シテ内務長又ハ副長ニ提出スヘシ

第四百條ノ六 掌内務長ハ内務長主管中所掌兵備品、機關附屬物及材料ノ出納ニ關スル諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回内務長ノ査閲ヲ受クヘシ

第四百一條ノ七 掌内務長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有効適切ナラシムヘシ

第四百二條ノ八 掌内務長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ調査シテ之ヲ内務長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修理ニ從事セ

シムヘシ

第百二十六條 九 掌内務長ハ艦内一般ノ構造ニ通曉シ且錨、錨鎖、索具、揚錨、揚艇、防火、防水、防毒、注排水及工作装置並ニ潛水器ノ構造、來歴、性能、用法、効力及此等ノ現狀ヲ知悉シ之カ活用及應急處置ニ付充分ナル研究練磨ヲ積ムヘシ

第百二十七條 十 掌内務長ハ掌内務長屬及兵科分隊下士官ノ補助ヲ得テ碇泊中ハ毎日二回航海中ハ毎四時間ニ機關室以外ノ艦底各部ニ於ケル溜水ノ深度ヲ檢測シ毎日初夜ヲ副長及内務長ニ報告シ且航海中夜間ハ檢測ノ都度之ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第百二十八條 十一 掌内務長ハ航海中屢艦内ヲ見廻リ漏水ノ箇所ナキヤヲ檢シ毎夕其ノ狀況ヲ内務長及當直將校ニ報告スヘシ
第百二十九條 十二 掌内務長ハ航海中時々錨、錨鎖、短艇其ノ他運用ニ關係アル移動物件ノ繫止、ホーズホール、蓋等ノ固締、索具ノ整頓等ヲ檢シ夜間ハ掌内務長屬及兵科分隊下士官ノ補助ヲ得テ時々其ノ狀況ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第百三十條 十三 掌内務長ハ航海中救助艇ノ整備ニ注意シ毎夕之ヲ點檢シテ結果ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第百三十一條 十四 掌内務長ハ常ニ内外舷、諸甲板、短艇、索具等ノ

保存、整頓及儀容ニ注意シ修整ノ必要ヲ認ムルトキハ之ヲ當直將校又ハ當該主管者分擔者ニ申告スヘシ

第百三十二條 十五 掌内務長ハ重要ナル運用諸作業ニハ必ス出場シテ指揮者ヲ補助シ又日常水兵員ノ運用ニ關スル事業及動作ヲ指揮監督スヘシ

第百三十三條 十六 掌内務長ハ内務長ノ命アルトキハ運用、電機、補機、工作、潛水又ハ注排水ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第百三十四條 十七 掌内務長ハ内務科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第百三十五條 十八 掌内務長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外内務長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第百三十六條 十九 掌航海長ハ航海長ノ命ヲ承ケ航海長主管ノ船體、艦船艙裝品、機關、機關附屬物及兵備品圖書圖誌類ヲ除ク以下倣之ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第五百三十八條 掌航海長ハ航海長主管中所掌物件ノ現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルコト又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ航海長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第五百三十九條 掌航海長ハ航海長主管中所掌物件ノ改造修理

ヲ行フトキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第五百四十條 掌航海長ハ航海長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ

關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記

載シテ副長ニ提出スヘシ

第五百四十一條 掌航海長ハ航海長主管中所管ノ兵備品ヲ領收

又ハ還納スルニ當リテハ其品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第五百四十二條 掌航海長ハ航海長主管中所管兵備品ノ出納ニ

關スル諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回航海長ノ査閲ヲ受ク

ヘシ

第五百四十三條 掌航海長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用

途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第五百四十四條 掌航海長ハ戦闘後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ

調査シテ之ヲ航海長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事

スヘシ

第五百四十五條 掌航海長ハ每週救難浮標ノ故障ナク落下スル

ヤ否ヤヲ試験シ之ヲ航海長及當直將校ニ報告スヘシ

第五百四十六條 削除

第五百四十七條 掌航海長ハ航海長ノ命アルトキハ航海術ニ關

スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第五百四十八條 掌航海長ハ航海科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ

其ノ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第五百四十九條 掌航海長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外航海長ノ

命ヲ承ケ服務スヘシ

第五百五十條ノニ 操舵長ハ操舵裝置一般ノ構造ニ通曉シ各裝置ノ

轉換方法及之カ轉換竝操縱ニ必要ナル人員數及其ノ他ノ應急

處置ニ付充分ナル研究練習ヲ積ムヘシ

第五百五十一條ノ三 操舵長ハ出港前操舵員ヲシテ操舵裝置ノ試運轉

ヲ行ハシメ其ノ結果ヲ航海長及當直將校ニ報告スヘシ

第五百五十二條ノ四 操舵長ハ出港前操舵員ヲシテ機關室ニ至ル通信

裝置ノ試験又ハ蒸氣舵取機（機械室裝備）及同關聯裝置ノ試運

轉ニ立會ハシメ其ノ結果ヲ航海長及當直將校ニ報告スヘシ

第五百五十三條ノ五 操舵長ハ航海長ノ命アルトキハ航海中自ラ操舵

ニ任シ又操舵及水路計器ノ取扱ニ關スル教育ノ實施ヲ補助ス

ヘシ

第五百五十四條ノ六 操舵長ハ操舵員ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、

性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第五百五十五條ノ七 操舵長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外航海長ノ命ヲ

承ケ服務スヘシ

第五百五十條 掌砲長ハ砲術長ノ命ヲ承ケ砲術長主管ノ船體、

艦船機裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第五百五十一條 掌砲長ハ屢艦内ヲ見廻リ砲術長主管物件ノ現

狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ砲術長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第五百五十二條 掌砲長ハ砲術長主管物件ノ改造修理ヲ行フト

キハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第五百五十三條 掌砲長ハ砲術長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ

關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記載シテ副長ニ提出スヘシ

第五百五十四條 掌砲長ハ砲術長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還納

スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ檢査スヘシ

第五百五十五條 掌砲長ハ砲術長主管兵備品ノ出納ニ關スル諸

帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回砲術長ノ査閲ヲ受クヘシ

第五百五十六條 掌砲長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途

ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第五百五十七條 掌砲長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損並彈

藥現在數ヲ調査シテ之ヲ砲術長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事スヘシ

第五百五十八條 掌砲長ハ航海中時時砲煩、彈藥等ノ繫止、砲

門ノ固縛其ノ他砲術長主管移動物件ノ固縛ヲ檢シ夜間ハ掌砲長屬等ノ補助ヲ得テ時時其ノ狀況ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第五百五十九條 掌砲長ハ砲術長ノ命アルトキハ砲術ニ關スル

教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第五百六十條 掌砲長ハ掌砲長屬、砲術科要具庫員等ノ勤務ニ

注意シ其ノ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第五百六十一條 掌砲長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外砲術長ノ命

ヲ承ケ服務スヘシ

第五百六十二條 削除

第五百六十三條 掌水雷長ハ水雷長ノ命ヲ承ケ水雷長主管ノ船

體、艦船機裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第五百六十四條 掌水雷長ハ屢艦内ヲ見廻リ水雷長主管物件ノ

現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタル

トキハ速ニ之ヲ水雷長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第五百六十五條 掌水雷長ハ水雷長主管物件ノ改造修理ヲ行フ

トキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第五百六十六條 掌水雷長ハ水雷長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件

ニ關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ

記載シテ副長ニ提出スヘシ

第五百六十七條 掌水雷長ハ水雷長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還

納スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第五百六十八條 掌水雷長ハ水雷長主管兵備品ノ出納ニ關スル

諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回水雷長ノ査閲ヲ受クヘシ

第五百六十九條 掌水雷長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用

途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第五百七十條 掌水雷長ハ戦闘後速ニ直接擔當物件ノ缺損及魚

雷現在數ヲ調査シテ之ヲ水雷長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ

修補ニ從事スヘシ

第五百七十一條 掌水雷長ハ航海中時時發射管、魚雷等ノ繫止、

前扉ノ固締其ノ他水雷長主管移動物件ノ固縛ヲ檢シ夜間ハ掌

水雷長屬等ノ補助ヲ得テ時時其ノ狀況ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第五百七十二條 掌水雷長ハ水雷長ノ命アルトキハ水雷ニ關ス

ル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第五百七十三條 掌水雷長ハ掌水雷長屬、水雷科要具庫員等ノ

勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知スヘシ

第五百七十四條 掌水雷長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外水雷長ノ

命ヲ承ケ服務スヘシ

第五百七十五條 掌機雷長ハ機雷長ノ命ヲ承ケ機雷長主管ノ船

體、艦船艙裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分

隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當

シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第五百七十六條 二 掌機雷長ハ屢艦内ヲ見廻リ機雷長主管物件ノ現

狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルカ又ハ検査修理ノ必要ヲ認メタルト

キハ速ニ之ヲ機雷長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第五百七十七條 三 掌機雷長ハ機雷長主管物件ノ改造修理ヲ行フト

キハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第五百七十八條 四 掌機雷長ハ機雷長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ

關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記

載シテ副長ニ提出スヘシ

第五百七十九條 五 掌機雷長ハ機雷長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還納

スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第五十五條ノ六 掌機雷長ハ機雷長主管兵備品ノ出納ニ關スル諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回機雷長ノ査閲ヲ受クヘシ

第五十五條ノ七 掌機雷長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第五十五條ノ八 掌機雷長ハ戦闘後速ニ直接擔當物件ノ缺損及機雷ノ現在數ヲ調査シテ之ヲ機雷長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケ之カ修補ニ從事スヘシ

第五十五條ノ九 掌機雷長ハ航海中時時機雷ノ繫止其ノ他機雷長主管移動物件ノ固縛ヲ檢シ夜間ハ掌機雷長屬等ノ補助ヲ得テ時時其ノ狀況ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第五十五條ノ十 掌機雷長ハ機雷長ノ命アルトキハ機雷術ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第五十五條ノ十一 掌機雷長ハ掌機雷長屬、機雷科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知スヘシ

第五十五條ノ十二 掌機雷長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外機雷長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第五百七十六條 掌通信長ハ通信長ノ命ヲ承ケ通信長主管ノ船

體、艦船艦裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第五百七十七條 掌通信長ハ通信長主管物件ノ現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルコト又ハ検査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ通信長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第五百七十八條 掌通信長ハ通信長主管物件ノ改造修理ヲ行フトキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第五百七十九條 掌通信長ハ通信長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記載シテ副長ニ提出スヘシ

第五百八十條 掌通信長ハ通信長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還納スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第五百八十一條 掌通信長ハ通信長主管兵備品ノ出納ニ關スル諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回通信長ノ査閲ヲ受クヘシ

第五百八十二條 掌通信長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第五百八十三條 掌通信長ハ戦闘後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ

調査シテ之ヲ通信長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ従事スヘシ

第五百八十四條 掌通信長ハ通信長ノ命アルトキハ電信、電氣器具ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第五百八十五條 掌通信長ハ通信科整備員、通信科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知スヘシ

第五百八十六條 掌通信長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外通信長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第五百八十七條 乃至**第五百九十六條** 削除

第五百九十七條 潜航長ハ直接潜航ニ關係アル潜水艦ノ諸裝置一般ノ構造ニ通曉シ各裝置ノ取扱操作及其ノ應急處置ニ付十分ナル研究練習ヲ積ミ且之カ整備ニ關シ各主管者ヲ輔佐スヘシ

第五百九十八條 潜航長ハ潜水艦ノ標準狀態ノ調整及維持ニ關シ水雷長ヲ輔佐スヘシ

第五百九十九條 潜航長ハ出港前潜水艦長ノ命ヲ承ケ關係員ノ潜舵及横舵裝置ノ作動試験ヲ監督スヘシ

第六百條 潜航長ハ屢潜水艦内ヲ見廻リ直接潜航ニ關係アル諸

裝置ノ現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルヲ認メ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ關係主管者ニ報告スヘシ

第六百一條 潜航長ハ潜航ニ關スル諸記録ヲ保管整理シ毎月一同水雷長ノ査閲ヲ受クヘシ

第六百二條 潜航長ハ潜航幹部附ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性情、健否等ヲ詳知シ時々之ヲ關係分隊長ニ申告スヘシ

第六百三條 潜航長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外潜水艦長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第六百四條 掌飛行長ハ飛行長ノ命ヲ承ケ飛行長主管ノ船體、艦船艦裝品及兵備品ノ出納、修理ニ關スル事務ヲ掌リ又分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第六百五條 掌飛行長ハ屢艦内ヲ見廻リ飛行長主管物件ノ現狀ヲ熟知シ其ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ飛行長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第六百六條 掌飛行長ハ飛行長主管物件ノ改造修理ヲ行フトキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第六百七條 掌飛行長ハ飛行長ノ命ヲ承ケ直接擔當ノ物件ニ關シ整頓手入等ノ爲兵員ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記載

シテ副長ニ提出スヘシ

第六五條ノ四 掌飛行長ハ飛行長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還納ス

ルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第六五條ノ五 掌飛行長ハ飛行長主管兵備品ノ出納ニ關スル諸帳

簿書類ヲ保管整理シ毎月一回飛行長ノ査閲ヲ受クヘシ

第六五條ノ六 掌飛行長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途ヲ

監視シテ之ヲ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第六五條ノ七 掌飛行長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ調査

シテ之ヲ飛行長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事スヘ

シ

第六五條ノ八 掌飛行長ハ航海中時時保管航空機ノ繫止、保護其

ノ他飛行長主管移動物件ノ固縛ヲ檢シ夜間ハ飛行科下士官等

ノ補助ヲ得テ時時其ノ狀況ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第六五條ノ九 掌飛行長ハ飛行長ノ命アルトキハ航空術及整備術

ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第六五條ノ十 掌飛行長ハ飛行科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ其ノ

才幹、技能、性行、健全等ヲ詳知スヘシ

第六五條ノ十一 掌飛行長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外飛行長ノ命ヲ

承ケ服務スヘシ

第六百六條 掌機長ハ機關長ノ命ヲ承ケ機關長主管ノ兵備品、

機關附屬物竝之カ保管ニ直接關係アル船體及艦船艤裝品ノ出

納修理ニ關スル事務ヲ掌リ分隊長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之

カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持ス

ヘシ

第六百七條 掌機長ハ機關長主管中所掌物件ノ現狀ヲ熟知シ其

ノ異狀アルカ又ハ検査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ之ヲ機關

長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第六百八條 掌機長ハ機關長主管中所掌物件ノ改造修理ヲ行フ

トキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第六百九條 掌機長ハ直接擔當物件ニ關シ整頓手入等ノ爲兵員

ヲ要スルトキハ之ヲ事業請求簿ニ記載シテ機關長ニ提出スヘ

シ

第六百十條 掌機長ハ機關長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還納スル

ニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ検査スヘシ

第六百十一條 掌機長ハ機關長主管兵備品ノ出納ニ關スル諸帳

簿書類ヲ保管整理シ毎月一回機關長ノ査閲ヲ受クヘシ

第六百十二條 掌機長ハ努メテ消耗品、飲料水及雜用水ノ節約

ヲ圖リ其ノ用途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第六百十三條 掌機長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損及燃

料、雜用水、飲料水竝ニ雜用水ノ現在額ヲ調査シテ之ヲ機關

長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事スヘシ

第六百十四條 掌機長ハ毎日正午ニ於ケル燃料、雜用水、飲料水

及雜用水ノ現量ヲ計測シ之ヲ機關科當直將校ニ報告スヘシ

第六百十五條 掌機長ハ燃料庫積入口ヲ開キタルトキハ之ヲ閉

鎖スルニ當リ内部ニ於ケル作業員ノ有無ヲ確メ且積入口ノ水

防ヲ嚴密ニ檢査シ之ヲ機關科當直將校ニ報告スヘシ

第六百十六條 掌機長ハ機關長ノ命アルトキハ機關ニ關スル教

育ノ實施ヲ補助スヘシ

第六百十七條 掌機長ハ機關科要具庫員等ノ勤務ニ注意シ其ノ

才幹、技能、性情、健否ヲ詳知スヘシ

第六百十八條 掌機長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外機關長ノ命ヲ

承ケ服務スヘシ

第六百十九條 乃至**第六百三十八條** 削除

第六百三十九條 掌看護長ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ診察及治療ヲ介

補シ患者看護ノコトヲ掌ルヘシ

第六百四十條 掌看護長ハ軍醫長ノ命ヲ承ケ軍醫長主管ノ船

體、艦船艦裝品及兵備品ノ出納修理ニ關スル事務ヲ掌リ分隊

長ノ分擔ニ屬スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ

常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第六百四十一條 掌看護長ハ軍醫長主管物件ノ現狀ヲ熟知シ其

ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ

軍醫長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第六百四十二條 掌看護長ハ軍醫長主管物件ノ改造修理ヲ行フ

トキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第六百四十三條 掌看護長ハ軍醫長主管ノ兵備品ヲ領收又ハ還

納スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ檢査スヘシ

第六百四十四條 掌看護長ハ軍醫長主管兵備品ノ出納ニ關スル

諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回軍醫長ノ査閲ヲ受クヘシ

第六百四十五條 掌看護長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用

途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第六百四十六條 掌看護長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ

調査シテ之ヲ軍醫長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事スヘシ

第六百四十七條 掌看護長ハ毎日正午ニ受診患者數及休業患者數ヲ當直將校ニ報告スヘシ

第六百四十八條 掌看護長ハ軍醫長ノ命アルトキハ醫務衛生ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第六百四十九條 掌看護長ハ看護員ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第六百五十條 掌看護長ハ前諸條ノ規定ニ依ルノ外軍醫長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第六百五十一條 掌經理長及掌衣糧長ハ主計長ノ命ヲ承ケ主計事務ノ一部ヲ擔當スヘシ

第六百五十二條 掌經理長ハ主計長ノ命ヲ承ケ掌衣糧長ノ所掌以外ノ主計長主管ノ船體、艦船艦裝品及兵備品必要ニ應シ主計長ハ之ヲ前條擔當事務ノ範圍ニ限定ス

スルモノノ外之カ整備充實保管手入等ヲ擔當シ常ニ之ヲ清潔且有效ニ保持スヘシ

第六百五十三條 掌經理長ハ主計長主管中所掌物件ノ現狀ヲ熟

知シ其ノ異狀アルカ又ハ檢査修理ノ必要ヲ認メタルトキハ速ニ之ヲ主計長ニ報告シ且關係分隊長ニ通報スヘシ

第六百五十四條 掌經理長ハ主計長主管中所掌物件ノ改造修理ヲ行フトキハ其ノ作業ノ適否及進捗ノ狀況ニ注意スヘシ

第六百五十五條 掌經理長ハ主計長主管中所掌兵備品ヲ領收又ハ還納スルニ當リテハ其ノ品質及數量ヲ精密ニ檢査スヘシ

第六百五十六條 掌經理長ハ主計長主管中所掌兵備品及金錢金錢經理ノ事務ニ關スルトキニ限ル與スルトキニ關シ出納ニ關スル諸帳簿書類ヲ保管整理シ毎月一回主計長ノ査閲ヲ受クヘシ

第六百五十七條 掌經理長ハ努メテ消耗品ノ節約ヲ圖リ其ノ用途ヲ監視シテ之カ使用ヲ有效適切ナラシムヘシ

第六百五十八條 掌經理長ハ戰鬪後速ニ直接擔當物件ノ缺損ヲ調査シテ之ヲ主計長ニ報告シ其ノ命ヲ承ケテ之カ修補ニ從事スヘシ

第六百五十九條 掌經理長ハ主計長ノ命アルトキハ會計、給與、庶務及廚業ニ關スル教育ノ實施ヲ補助スヘシ

第六百六十條 掌經理長ハ關係主計員ノ勤務ニ注意シ其ノ才幹、技能、性行、健否等ヲ詳知スヘシ

第六百六十條ノ二 掌衣糧長ハ主計長ノ命ヲ承ケ被服、糧食及

艦營需品ニ關スル業務ヲ掌リ第六百五十二條乃至前條ノ規定

ニ準シ服務ス但シ必要ニ應ジ主計長ハ艦營需品ニ關スル業務

ノ一部又ハ全部ヲ掌經理長ノ所掌ト爲スコトヲ得

第六百六十一條 掌經理長ハ前諸條、掌衣糧長ハ前條ノ規定ニ

依ルノ外主計長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第六百六十二條ノ二 乘組特務士官准士官第十七章ニ掲クル勤務ヲ命

セラレタルトキハ各其ノ規定ニ依リ服務スヘシ

第六百六十二條ノ三 前諸條ニ規定スル者ヲ除クノ外乘組特務士官准

士官ハ所屬上官ノ命ヲ承ケ服務シ下士官以下ヲ指導監督シ教

育ノ實施ヲ補助シ擔當ノ船體、艦船艤裝品、機關、機關附屬物

及兵備品ヲ整備シ又艦長ノ定ムル所ニ依リ其ノ配屬科ニ應ジ

前條ニ掲クル諸官ヲ補助シ其ノ職務ヲ分擔スヘシ

第六百六十二條 乘組特務士官、准士官ハ前諸條ノ規定ニ依ル

ノ外艦長ノ定ムル所ニ依リ諸配置ニ於ケル各上官ノ命ヲ承ケ

服務スヘシ

第六百六十三條 乘組特務士官、准士官其ノ職ヲ退クトキハ擔

任所掌ニ關スル事項其ノ他必要ナルコトヲ新任者ニ引繼キ且

直接保管ノ諸物件ヲ授受シ終テ新舊任者共ニ之ヲ直屬上官ニ報告スヘシ

第二十一章 乘組兵員

第六百六十四條 兵員ハ分隊長ニ屬シ身上ニ係ル大小ノ事項、

公私ノ諸願其ノ他特ニ規定アルモノノ外百般ノコト皆悉ク其

ノ指揮監督ヲ承ケ諸般ノ部署ニ依ル業務ニ關シテハ其ノ部署

ニ於ケル上官ノ指揮ニ從ヒ衛兵其ノ他諸役員トシテハ衛兵司

令、甲板士官其ノ他當該上官ノ命ヲ承ケ艦ノ内外ニ於ケル諸

作業及當直勤務ニ關シテハ當直將校、機關科當直將校其ノ他

指揮監督者ノ命ヲ承ケ教育訓練ノコトニ關シテハ教官教員ノ

指示ニ從ヒ服務シ擔當ノ船體、兵器、機關其ノ他諸物件ヲ愛護

シテ之カ保存整頓及取扱ニ注意シ定則ヲ遵守シ命令ヲ尊重シ

任務ヲ知悉シ以テ誠意忠實各其ノ職務ニ勉勵スヘシ

第六百六十五條 分隊首席下士官ハ分隊長ノ命ヲ承ケ其ノ分隊

ノ下士官以下ヲ指導シ其ノ儀表模範ト爲リ之カ一致團結ヲ圖

リ其ノ性行、技能等ヲ詳知シ之ヲ督勵シテ各自ノ責務ヲ盡サ

シメ又分隊長ト下士官以下トノ間ニ於ケル上申下達其ノ他分

隊ノ事務ヲ取次キ且分隊長分擔ノ船體、兵器、機關等ノ整備及

之ニ關スル事業ニ注意スヘシ

第六百六十六條 班長タル下士官ハ其ノ班ノ儀表模範ト爲リ紀律ヲ維持シ之ガ一致團結ヲ圖リ班員ノ性行、技能、經歷、家庭其ノ他身上ニ及ボス事情等ヲ詳知シ分隊首席下士官ト連絡ヲ保持シ又其ノ任務ヲ分擔輔佐スベシ

第百六十七條 前二條ニ規定スルモノノ外下士官ハ班ニ在リテハ其ノ班ノ、分隊ニ在リテハ其ノ分隊ノ模範ト爲リ班長又ハ分隊首席下士官ヲ輔佐スベシ

第六百六十七條 各配置ニ於ケル首席兵員ハ所屬分隊長又ハ其ノ配置ニ於ケル指揮者ノ命ヲ承ケ其ノ配置員ヲ指導シ其ノ性行、技能等ヲ詳知シ之ヲ督勵誘導シテ各其ノ職務ヲ盡サシメ又特ニ擔當ノ船體、兵器、機關等諸物件ノ整備保存ニ注意シ實用ニ當リ毫モ遺憾ナカラムコトヲ努ムヘシ

第六百六十八條 短艇長ハ短艇指揮ノ命ヲ承ケ艇員ヲ指揮シ艇體、機關及要具ヲ整備シ常ニ之カ清潔有效ニ保存スルコトニ注意スヘシ

第六百六十九條 先任衛兵伍長ハ副長、當直將校、衛兵司令、甲板士官ノ命ヲ承ケ艦内ノ警察整頓及紀律ニ關スルコトニ從事

シ衛兵伍長以下衛兵ノ勤務ヲ監督シ又下士官以下乘員全般ニ關スル事務ヲ掌ルヘシ

第六百七十條 先任衛兵伍長ハ下士官以下ニシテ犯行者アルトキハ犯件簿ニ其ノ官職氏名及犯行事實等ヲ記載シテ衛兵司令ニ提出シ又其ノ處分アリタルトキハ之ヲ記入スヘシ

第六百七十一條 先任衛兵伍長ハ艦長諸點檢ノ際及副長艦内ヲ巡檢スルトキハ之カ先導ヲ爲スヘシ

第六百七十二條 掌砲長屬ハ砲衛長ノ指定ニ依リ掌砲長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第六百七十三條 掌水雷長屬ハ水雷長ノ指定ニ依リ掌水雷長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第百七十四條 掌機雷長屬ハ機雷長ノ指定ニ依リ掌機雷長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

第六百七十四條 掌內務長屬ハ內務長ノ指定ニ依リ掌內務長ヲ補助シ其ノ命ヲ承ケ服務シ且第六百八十六條ニ掲クル傳令ノ勤務ニ服スヘシ

第六百七十五條 機關科特務下士官ハ機關科ニ屬スル下士官及兵ノコトニ關シ先任衛兵伍長ノ職務ヲ分擔補助シ又機關長、

機關科當直將校、機關長附等ノ命ヲ承ケ機關科ニ屬スル下士官及兵全般ニ關スル事務ヲ掌ルヘシ

第六百七十六條 操舵員及舵取機員ハ航海長、分隊長等ノ命ヲ承ケ舵、操舵裝置(機械室裝備ノ蒸氣舵取機ヲ除ク)、舵取機室、操舵室水路計器等ヲ整頓シ且航海中第六百八十七條ニ掲クル舵輪及舵取機當直ノ勤務ニ服スヘシ

第六百七十七條 航海幹部附、信號員及見張員ハ航海長、分隊長等ノ命ヲ承ケ其ノ分擔業務ニ關スル要具及裝置其ノ他信號所、見張所、倉庫等ヲ整頓シ且第六百八十一條第四號ノ規定ニ依ル當直員トシテ艦橋當直勤務ニ從事スヘシ

第六百七十八條 電信員ハ通信長、分隊長等ノ命ヲ承ケ無線電信電話ニ關スル要具、裝置、無線電信電話室等ヲ整頓シ且第六百八十七條ニ掲クル電信當直ノ勤務ニ服スヘシ

第六百七十九條 電路員ハ砲術長、分隊長等ノ命ヲ承ケ內務長主管以外ノ艦內電氣通信器具其ノ他諸電氣裝置ノ修補ニ從事

シ之ヲ整頓スヘシ
第六百八十一條 各庫員ハ當該主管者、分隊長等ノ命ヲ承ケ庫內ノ整頓、物品ノ出納、帳簿ノ記註等ニ從事スヘシ

第六百八十二條 工業員ハ內務長、分隊長等ノ命ヲ承ケ金屬又ハ木具工業及潛水作業ニ從事シ又工作長主管中關係諸物件ヲ整頓スヘシ

第六百八十三條 看護員ハ軍醫長、分隊長等ノ命ヲ承ケ診察治療ヲ助ケ患者ヲ看護シ又軍醫長主管諸物件ヲ整頓スヘシ

第六百八十四條 主計員ハ主計長、分隊長等ノ命ヲ承ケ會計、庶務、給與、廚業等ニ從事シ又主計長主管中關係諸物件ヲ整頓スヘシ

第六百八十五條 掌內務長、掌航海長、操舵長、掌砲長、掌水

雷長、掌機雷長、掌通信長、掌飛行長、掌機長、掌看護長、掌經理長、掌衣糧長トシテ特ニ特務士官又ハ准士官ヲ配員セラルルカ又ハ他ノ職務ヲ有スル特務士官、准士官ヲシテ兼務セシメサル場合ニ於テハ特ニ命セラレタル下士官ハ艦長ノ定ムル所ニ依リ本條ノ各官ニ關スル規定ニ準シ之カ職務ニ從事スヘシ

第六百八十六條

衛兵其ノ他兵員諸役員ハ左ノ諸號ニ依リ服務シ各首席者ハ其ノ長トシテ監督ノ責ニ任スヘシ

一 衛兵伍長及衛兵ハ第六百八十七條ニ掲クル當直衛兵伍長及當直衛兵ノ勤務ニ服シ又特令ニ依リ臨時ノ勤務ニ從事スヘシ

二 傳令ハ第六百八十七條ニ掲クル當直傳令ノ勤務ニ服スヘシ

三 内外舷掛ハ艦ノ内外舷ヲ清潔ニ保ツコトニ從事スヘシ

四 甲板掃除番ハ居住甲板ヲ清潔ニ保チ且之カ整頓ニ從事スヘシ

五 廁番ハ廁内ヲ清潔ニ保ツコトニ從事スヘシ

六 取次ハ第六百八十七條ニ掲クル當直取次ノ勤務ニ服スヘシ

七 從兵ハ准士官以上日常ノ使役ニ服シ又其ノ公私室、食器室、浴室等ヲ受持チ之ヲ整頓シ且清潔ニ保ツコトニ從事スヘシ

八 守燈番ハ公私室諸燈、機關室諸燈、信號用諸燈及電燈ノ外總テノ燈具ヲ受持チ其ノ點燈、消燈、保存、手入及燈具室ノ整頓ニ從事スヘシ

九 艦底掛ハ機關科所屬以外ノ艦底ヲ清潔ニ保チ且之カ保存手入及潛孔ノ開閉ニ從事スヘシ

十 砲塔當番及發射管室當番ハ砲塔又ハ發射管室一般ノ整頓手入ニ從事スヘシ

十一 電話掛ハ第六百八十七條ニ掲クル電話當直ノ勤務ニ服シ且電話交換室ノ整頓手入ニ從事スヘシ

十二 嗜好糧食委員附又ハ酒保委員附ハ委員ノ命ヲ承ケ給與令規定ノ買辦糧食品又ハ酒保販賣品ニ關スルコトニ從事スヘシ

十三 削除

十四 食卓番ハ食事ノ配當及食卓食器並食卓附近ヲ清潔ニ保

チ且之カ保存及整頓ニ從事スヘシ

十五 士官釣床掛ハ准士官以上釣床ノ準備收納ニ從事スヘシ

十六 釣床掛ハ釣床ノ出入整頓ニ從事スヘシ

第六百八十七條 下士官兵諸當直員ハ左ノ諸號ニ依リ勤務シ適

當ノ交代者アルカ又ハ當直將校機關科當直將校ノ許可アルニ非サレハ定所ヲ離去スヘカラス

一 當直傳令ハ通常上甲板又ハ最上甲板ニ在リテ勤務シ號令命令ヲ傳達シ其ノ實行ニ注意スヘシ

二 當直衛兵伍長及當直衛兵ハ各所定ノ場所ニ在リテ勤務シ

艦内ノ守備、警察及傳令ニ從事シ又當直衛兵伍長ハ當直衛兵ヲ指揮シ碇泊中ハ舷門ノ出入ヲ監視スヘシ

三 當直取次ハ通常上甲板又ハ最上甲板ニ在リテ勤務シ當直將校其ノ他准士官以上ノ差使傳令及舷門ノ送迎ニ從事スヘシ

四 艦橋當直ハ艦橋、見張所又ハ信號所ニ在リテ勤務シ信號、見張及喇叭傳令ニ從事スヘシ

五 電信當直ハ無線電信室ニ在リテ勤務シ無線電信電話ノ發受信ニ從事スヘシ

六 電話當直ハ電話交換室ニ在リテ勤務シ艦内電話ノ交換ニ從事スヘシ

七 舵輪當直ハ操舵室(所)ニ在リテ勤務シ操舵ニ從事スヘシ
八 舵取機當直ハ舵取機室ニ在リテ勤務シ舵取機ノ監視ニ從事スヘシ

九 航海當番ハ各所定ノ場所ニ在リテ勤務シ機關室ヘノ通信、回轉信號速力信號ノ上下、航海燈ノ監視又ハ艦外見張等ニ從事スヘシ

十 機關科航海當直ハ機關室內各受持部ニ在リテ勤務シ機關ノ運轉ニ從事スヘシ

十一 補機當直ハ所要ノ補機室ニ在リテ勤務シ補機ノ運轉ニ從事スヘシ

十二 電機當直ハ所要ノ電機室ニ在リテ勤務シ電機ノ運轉ニ從事スヘシ

十三 機關科碇泊當直ハ各所定ノ場所ニ在リテ勤務シ機關科ニ於ケル差使傳令ニ從事シ命令ノ實行ニ注意スヘシ

十四 機械室碇泊當直ハ機械室ニ在リテ勤務シ機械室ノ作業及整頓ニ從事スヘシ

第二類 官制 艦船職員服務規程

五五四

十五 罐室碇泊當直ハ罐室ニ在リテ勤務シ碇泊中使用スル罐

ノ汽釀及罐室ノ整頓ニ從事スヘシ

十六 機働艇當直ハ機働艇ニ在リテ勤務シ艇ノ操縱運轉ニ從

事シ又短艇指揮乘艇シアラサルトキ艇長ハ艇ノ保安ニ任ス

ルシ